

Tokyo Metropolitan University Alumni

同窓会会報 2020年(令和2年) 第15号 目次

同窓会長就任のご挨拶	吉田 雅俊	2
新任副会長就任のご挨拶	奥田 修一	3
新任広報委員長就任のご挨拶	萩原 信吾	3
同窓会役員名簿		4
委員会組織及び構成メンバー		5
新任理事就任挨拶		6～7
浅見 雄介・上嶋 聖人・高橋 誠・津久井文哉・八木 隆・山川 徹		
新任評議員就任挨拶		7～8
巖 千晶・岩崎 真典・小川雄二郎・河井 信・小柳 淳・島袋 翼・下川原英理		
表紙のことは「小湊鐵道旅行紀 上総大久保駅」	岩下 慎吾	9
全評議員のご紹介		10
同窓生はいま		11～12
「一日カフェ企画に参加して」近藤 常葉(11)、「日本が大好き」シカ・シン(11)、「世界に名を馳せるスタートアップ企業として」大月 聡子(11)、「人生100年時代を見据えて」河野 純子(12)、「68歳の現役男性保育士の奮闘」高田勇紀夫(12)		
災害支援ボランティア「平時にできないことは非常時にはできない」	虎谷 彰子	13
評議員に立候補をお願いいたします		13
母校はいま		14～18
「平成」最後になる2018年度卒業式(14)、「首都大学東京」の大学名としては最後になる2019年度入学式(14)、2019年度首都大学東京秋季卒業式(14)、2019年度首都大学東京秋季入学式(15)、第67回首都大学東京・大阪府立大学総合競技大会(15)、第38回首都大学東京・横浜市立大学総合定期戦(15)、第7回プロジェクト奨励賞受賞者(15)、平成30年度同窓会長特別表彰(16)、Systems Design Fourum 2019を開催(17)、荒川キャンパスにボランティアセンターを開設(17)、日本初の「子どもの貧困調査研究コンソーシアム」を発足(17)、「五大陸国際学生シンポジウム」を本学にて開催(17)、恒例の青鳩祭・みやこ祭を開催(18)、「TMUプレミアム・カレッジ」は本年も狭き門(18)、大学説明会ポスターデザインコンクール(18)		
つなぐ研究室紹介シリーズ 荒川キャンパス 新放射線治療室		19
大学事務局からのご報告		20～24
2020年度入学者選抜試験出願状況(前期+後期)(20)、名誉教授称号授与者(20)、退職された教授・准教授(20)、教員免許状更新講習の開設について(20)、大学名称変更について学長挨拶(21)、名称変更後の大学シンボルマークについて(21)、TMUプレミアム・カレッジ開講(22)、2017年度卒業生・修了生の主な就職先(23・24)		
支部だより		25～27
九州支部(25)、関西支部(25)、中部支部(26)、埼玉八雲会(26)、八雲会東北支部(27)		
八雲クラブで会いましょう	丑山佐千男	27
2019年同窓会寄付講義		28
同窓会事務局からのお知らせとお願い		29～30
2020年第16期同窓会活動方針		31
2019年第15期同窓会活動報告		32
同窓会規約新旧対照表		33
新同窓会の名称は東京都立大学同窓会に決定		34
新同窓会名称決定の経緯		34
東京都立大学への名称変更記念募金のお願い		34
東京都立大学同窓会奨学金規程		34
大学名称変更記念募金への御礼		35
大学名称変更記念募金者名簿		35～37
第16回首都大学東京同窓会評議員会 議事録抜粋		38
第16回首都大学東京同窓会総会 議事録抜粋		39
維持寄付金受領のお礼 ご報告とお願い		40～41
TMU プラザ		42～45
2018年度東急八雲会(42)、関ゼミナール・恩師を偲ぶ会(42)、22期建築工学科同期会(42)、漕艇部創部70周年記念式典(43)、21期建築同期会(43)、2019年度八雲三六会(43)、合気道部創立50周年記念式典(44)、自動車部「創部60周年記念パーティー」を開催(44)、学術探検会OB会が開催されました(45)、オケラの会(45)、荒キャン東北応援隊活動終了(45)		
計報		46
首都大学東京同窓会会計報告		47
TDS第34期会計報告		48
広報委員会会報編集委員名簿		48
編集後記		48
2020年(令和2年)東京都立大学同窓会 ホームカミングデー案内		
2021年新年会案内 会報の発行時期について		表4



写真上から南大沢キャンパス
1号館・光の塔
日野キャンパス
科学技術交流施設
荒川キャンパス
校舎棟



同窓会長就任のご挨拶

東京都立大学同窓会 会長

吉田 雅俊

東京都立大学工学部 機械工学科23期

昨年10月に首都大学東京同窓会第5代会長に就任いたしました、吉田雅俊でございます。このたびの「東京都立大学」への名称変更に伴い、同窓会の名称も「東京都立大学同窓会」となり、初代の同窓会長になりました。何卒ご支援とご協力の程、よろしくお願いいたします。

東京都立大学は、世界有数の国際都市、東京都が設置する唯一の総合大学であり、世界のトップクラスの大学へと着々と地歩を固めています。また東京都のシンクタンクとして産学公連携等の重要な役割を担っています。名称変更を契機に、他の国公立大や私立大にない独自性を活かして、さらなる発展をめざしています。南大沢、日野、荒川に三つのキャンパスがあり、学部学科数、学部大学院学生数、教職員数など新生都立大学は、規模、レベルとも私が在籍していた頃の旧都立大学よりも格段に大きくなっています。

新生都立大学同窓会の下に、首都大、旧都立大、旧科大、旧保科大・医療技術短大の卒業生が結集します。「ワン！都立大同窓会」をめざします。

私は、同窓会は、多くの卒業生が気軽に集える場でありたいと考えております。そのためには、明るく楽しく、魅

力溢れる同窓会であることが前提であり、卒業生や在校生が母校を誇りに思えることが重要です。多くの卒業生が同窓会活動を通じて、同窓・学友といったよき友との感動的な出会い、交流や親睦を通じて、楽しく豊かな人生の一助にさせていただきたいと願っております。

初代同窓会長として、まず、同窓会の基礎固めに注力いたします。①現在、同窓会の会員数は7万人、全国に7支部、海外に2拠点で活動しています。今後会員間の結束を高めます。②クラブ、サークル、同好会、同期会、ゼミ、職域等のOBORG会が都立大同窓会に合流いただけるよう企画します。③卒業生と在校生、卒業生同士の出会い、交流の場を企画します。また産学公連携等を通じて、大学と卒業生との連携を深めます。④卒業生、在校生、大学の友好融和をめざして始まった、共同イベントである「ホームカミングデー」を同窓会のメインイベントとして盛り上げます。

大学名の変更を記念して、「東京都立大学への名称変更記念募金」を推進しております。卒業生と学生、大学との距離を縮めたいと考えております。皆様の協力を宜しくお願いいたします。

吉田 雅俊 会長の経歴

現職

(株)日税ビジネスサービス
(株)日税不動産情報センター
(株)共栄会保険代行
代表取締役会長兼社長 (CEO)

学歴

東京都立大学 工学部機械工学科23期卒

関係団体役職

東京新都心ロータリークラブ 元会長

趣味

ゴルフ 能 スキューバダイビング 書道

新任副会長就任のご挨拶

奥田 修一 (都立大・21期・建築)

このたび、同窓会の副会長を仰せつかりました奥田修一です。

大学卒業後は国家公務員として建設省、国土交通省に勤務し、主に国の建築物の整備や保全指導に関する業務に携わってきました。現在は一般財団法人建築保全センターという組織で建築保全や改修工事の基準作りなどの仕事をしています。

首都大学東京・東京都立大学は間口の広い総合大学でありながらそれぞれの学部、学科は学生数としては比較的小規模であることから、社会に出ると身近に同窓生が少なくネットワークも希薄になる傾向があるように感じられます。そうした中でも

学科の同期会、クラブのOB・OG会、会社の同窓会などが活動していますが、なかなかその全体像がつかめていないように思います。

今回、同窓会活動では組織整備委員会を担当することになりましたので、まずは現在活動している同窓生のグループの状況について把握することから始めたいと考えています。そうした情報を同窓生が共有することで、同窓会活動の基盤として、また同窓生のネットワークづくりに役立てることが出来たらと思います。

大学の名称も変更になり、新生東京都立大学の同窓会として吉田雅俊会長のもと、学生、大学、卒業生をつなぐ交流の場として、楽しく魅力あふれる同窓会、誇れる母校づくりにも貢献できるような微力を尽くしたいと考えておりますので、皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いたします。



奥田 修一

新任広報委員長就任のご挨拶

荻原 信吾 (都立大・24期・仏文)

この程、黒川前委員長の後任として広報委員長に就任しました荻原です。

昨年(2019年)は同窓会広報活動にとっても大きな転換期となりました。

皆様ご案内のとおり、年2回発行してきた会報を本年から春の1回にし、発行発送経費を削減して学生支援の充実等に充てることにしたものです。

そこで、会報に代わる広報手段として、ホームページの他メールアドレス(月1回発行)の充実を図っていますが、アドレス登録が数千人規模ですので会員の一層の登録推進が必要となっています。

近年IT化の進行は著しいものがあり会報誌不要論もありますが、幅広い世代により構成されている同窓会では、伝統的な紙媒体は依然不可

欠ですので、内容の充実を引き続き図ってまいります。

また、新入生の同窓会加入率は年々向上してきましたが、全員加入に向けて大学との連携を強化し勧誘活動(P.R冊子の発行)にも力を入れていきます。

最後になりますが、本年4月から同窓会名称変更に伴う記念募金(主に学生奨学金に活用)の推進も広報委員会の重点課題です。

当会活動への同窓生の皆様の倍旧のご支援並びに募金へのご協力をお願いして就任のご挨拶といたします。

同窓会役員名簿

2020. 04. 01現在

役員名	学校・学科・専攻名	氏 名	所 属 委 員 会 等
会 長	都23・機械	吉 田 雅 俊	学生支援
副会長	都28・生物	黒 川 信 一	総務 企画 広報 イベント 学生支援
副会長	都21・建築	奥 田 修 一	組織 学生支援
副会長	科5・機械	松 本 公 一	総務 イベント 情報 学生支援
副会長	医7・地域	齋 藤 夕 子	総務 広報 学生支援
理 事	都51・政治	浅 見 雄 介	イベント
理 事	都17・建築	芦 沢 清 隆	広報
理 事	科12・電子	安 藤 拓 哉	組織
理 事	首2009・法律	石 井 陽 介	財務 学生支援
理 事	都54・史学	稲 野 辺 久 智	広報 イベント 財務 学生支援
理 事	首2014・基盤	岩 下 慎 吾	広報
理 事	首2016・法律	上 野 高 暉	八雲
理 事	都45・法律	上 野 庸 介	広報 財務
理 事	都22・政治	丑 山 佐 千 男	組織 八雲 学生支援
理 事	科18・生産	上 嶋 聖 人	イベント
理 事	都11・工化	大 石 不 二 夫	組織
理 事	都24・仏文	荻 原 信 吾	広報 八雲
理 事	科3・機械	小 原 弘 道	広報 イベント 情報 学生支援
理 事	都20・電気	河 口 修 渉	企画 TDS
理 事	都29・法律	左 田 野 ま き 子	八雲
理 事	都20・社会	水 津 祐 美 子	広報
理 事	都56・生物	鈴 木 根 紀 夫	広報 イベント 学生支援
理 事	医1・放射	関 根 誠 敏	情報
理 事	都20・経済	高 橋 明 敏	八雲
理 事	都41・英文	高 代 鳥 モーシウツデン	組織 八雲 情報
理 事	都24・工化	千 代 鳥 文 哉	イベント
理 事	首2016・経シ	津 久 井 勝 純	企画
理 事	医1・放射	西 形 純 一	広報
理 事	保6・放射	畑 山 久 光	広報 情報
理 事	都54・地理	嶋 山 久 光	八雲
理 事	都49・経済	三 澤 康 子	企画
理 事	都11・社会	光 藤 隆 徹	組織
理 事	都25・機械	八 木 隆 徹	総務 学生支援
理 事	都22・政治	山 川 俊 雄	財務 情報 学生支援 TDS
理 事	都19・数学	吉 田 充 洋	広報
監 事	都9・経済	加 藤 充 洋	
監 事	科6・電子	君 和 田 順 光	
監 事	医3・理学	古 川 順 光	

(注) 略称 学生支援：学生支援事業推進委員会
 総 務：総務委員会
 企 画：企画委員会
 広 報：広報委員会
 組織整備：組織整備委員会
 財 務：財務委員会
 イベント：イベント委員会
 八 雲：八雲クラブ
 情 報：情報管理委員会
 T D S：(株)同窓会サービス

2020年(令和2年)東京都立大学同窓会委員会組織及び構成メンバー

2020.04.01現在

委員会名	正副委員長	理 事	非 理 事
総 務	委員長 黒川 信 (都28生物)	稲野辺 久智 (都54史学) 齋藤 夕子 (医07地域) 松本 公一 (科05機械) 山川 徹 (都22政治)	杉村 哲雄 (都12法律)
企 画	委員長 河口 修 (院工20電気) 副委員長 西形 勝宏 (医01放射)	黒川 信 (都28生物) 光藤 康子 (都11社会)	
広 報	委員長 荻原 信吾 (都24仏文) 参事 野原 剛 (都04化学) 参事 河井 信 (都16経済)	芦沢 清隆 (都17建築) 稲野辺 久智 (都54史学) 岩下 慎吾 (首04基盤) 上野 庸介 (都45法律) 小原 弘道 (科03機械) 黒川 信 (都28生物) 齋藤 夕子 (医07地域) 鈴木 祐美子 (都56生物) 関根 紀夫 (医01放射) 畑 純一 (保06放射) 畠山 久 (都54地理)	加藤 充子 (都09経済) 村山 祥彦 (都05経済) 根谷崎 武彦 (都10化学)
組織整備	委員長 奥田 修一 (都21建築)	安藤 拓哉 (科12電子) 丑山 佐千男 (都22政治) 大石 不二夫 (都11工化) モーションデザイン 豊 (都24工化) 八木 隆 (都25機械)	
財 務	委員長 稲野辺 久智 (都54史学) 副委員長 吉田 俊雄 (都19数学)	石井 陽介 (首009法律) 上野 庸介 (都45法律)	
イベント	委員長 関根 紀夫 (医01放射) 副委員長 小原 弘道 (科03機械)	浅見 雄介 (都51政治) 稲野辺 久智 (都54史学) 上嶋 聖人 (科16生産) 小原 弘道 (科03機械) 黒川 信 (都28生物) 津久井 文哉 (首016経済) 松本 公一 (科05機械)	小野 修一 (都34法律) 滝口 亨 (都26数学) 鷺尾 悟 (都56電気)
八雲クラブ	委員長 丑山 佐千男 (都22政治) 副委員長 水津 まき子 (都20社会) 副委員長 左田野 渉 (都29法律)	上野 高暉 (首016法律) 荻原 信吾 (都24仏文) 高部 明敏 (都41英文) モーションデザイン 豊 (都24工化) 三澤 光 (都49経済)	池田 敬二 (都42社会) 石井 光一 (都28経済) 大林 清一 (都25生物) 北原 隆 (都36建築) 倉山 昭蔵 (都15社会) 中澤 勲 (都12電気) 本橋 唯弘 (都19政治)
情報管理	委員長 モーションデザイン 豊 (都24工化)	小原 弘道 (科03機械) 高橋 誠 (都20経済) 畠山 久 (都54地理) 松本 公一 (科05機械) 吉田 俊雄 (都19数学)	

TDS(株)同窓会サービス 2018.03.28改正

学生支援事業推進委員会

代 表 役	河口 修 (院工20電気)	会 長	吉田 雅俊 (都工23機械)	委 員	齋藤 夕子 (医07地域)
取締役	中村 政和 (都25法律) 袴田 勝紀 (都42法律) 久保 義丸 (都42法律)	副会長	黒川 信 (都理29生物) 松本 公一 (科05機械) 奥田 修一 (都工21建築)		石井 陽介 (首009法律) 稲野辺 久智 (都理54史学) 丑山 佐千男 (都法22政治) 小原 弘道 (科03機械) 関根 紀夫 (医01放射) 山川 徹 (都22政治) 吉田 俊雄 (都理19数学)
監査役	松本 傳 (都07経済) 吉田 俊雄 (都19数学)				

新任理事就任挨拶

浅見 雄介
あさみ ゆうすけ



浅見 雄介（都51・法・政治）

この度、同窓会理事に就任致しました浅見雄介と申します。微力ながら同窓会のお力になればと思っております。

大学では主にジャズ研究会での活動がメインになってしまい、マイルスやコルトレーンなどに陶醉し、ジャズピアノの練習ばかりで、学業はなんとか卒業できた程度でした。

高橋 誠
たかはし まこと



いざ社会に出てみると、世の中の法律知識がいかに大切であるかを感じ知らされ、もう少し法律をしっかりと勉強しておくべきだったという思いを巡らせました。また、私が社会に出てから在日外国人の数も増加し、現在はそれにまつわる問題に取り組んでおりますが、最近では国際都市東京といったイメージも鮮明になってきているような気がしています。

そういつた意味で今年度は東京オリンピックが開催される年であり、世界的にも東京が再度見つけられる機会になるのだと思います。

都立大や首都大の卒業生としても、2020年という節目に力を合わせてできることがあれば精いっぱい

い取り組んで参りたいと考えております。

略歴 2003年都立大学法学部政治学科卒業、2005年東京大学大学院情報学環教育部終了。その後通信キャリアやIT企業を経て、現在は行政書士として独立。主に外国人の在留資格や就労問題に取り組んでいる。

上嶋 聖人（科技18・生産）

この度、同窓会理事に就任いたしました上嶋聖人と申します。私は、2003年に東京都立科学技術大学工学部に入學し、2年後に都立4大が合併し、現在の首都大学東京になりました。修士課程を修了して10年が経過しましたが、大学時代、とりわけゼミで培われた論理的思考や知識は、社会に出てから今に至るまで大いに役立っております。また、学科や委員会等で出会った交友関係は今でも続いており、大学時代の勉強やご縁によって、私の人生は公私共々実りあるものとなりました。母校に対して大変感謝しております。そのような母校に少しでも恩返し

したいとの思いを抱いていたところ、先輩より同窓会理事のお誘いを頂きました。微力ではございますが、自分の持つ知識や経験を活かして同窓会に少しでも貢献できるように努めて参りたいと存じます。また、先に申し上げた大学時代の交友関係を通して活動を広めるなど、同窓会の輪を少しでも広げられればと考えております。よろしくお願いいたします。

略歴 2007年都立科学技術大学工学部生産情報システム工学科入學。2009年首都大学東京大学院システムデザイン研究科システムデザイン専攻経営システムデザイン専修。博士前期課程修了。同年フアナック㈱入社。2016年一般社団法人ふるさと経営戦略研究所に転職。同年行政系シンクタンク会社兼務。

高橋 誠（都20・経・経済）

この度同窓会理事に就任した高橋誠です。私は68年に都立大学経済学部に入學しました。4年間の大学生活では、2年生の時には大学紛争がありました。当初3年間はクラブ活動（ESS）に精を出し、後半の2年間はゼミ活動（財政学の林先生）を中心に充実した大学生活を送ることが出来たと思っています。卒業後大学で学んだことが少しでも生かせ

るかと思いい、証券会社に入社し念願の海外勤務は通算15年に及び、この間多様な人々と交流できたことはその後の大きな糧となっております。

今回事業になった動機は、諸先輩のご尽力により大学名が（新生）都立大学に戻ることが決定したことが大きいと思います。現在の南大沢の校舎には、OBによる寄付講座で何回か通いましたが、その度に八雲の校舎に通った日々を思い出していました。古希を過ぎ何らかの形で母校に恩返しできればと思いい同窓会活動を通して、微力ながら少しでもお手伝いいたしたく存じます。よろしくお願いいたします。

略歴 1972年都立大学経済学部卒業、同年野村証券入社。ロンドン、ニューヨーク駐在の後、取締役ジャフコ常務を経て、現在ユニテッド・マネージャーズ・ジャパン(株)顧問、フィナンシャル・エージェンシー社外取締役、日本モーター協会の理事

津久井文哉

（首16卒 システムデザイン・経営システムデザイン）

このたび、同窓会理事に就任いたしました。津久井文哉と申します。26歳の社会人2年目であり、同窓会理事の中では数少ない首都大出身の理事となります。現在、私の職場が都心から遠いため、理事会に毎回参



津久井 文哉
つくい ふみや

八木 隆
やぎ たかし



山川 徹
やまかわ とおる



巖 千晶
いわお ちあき



加することは難しいかもしれませんが、数少ない首都大出身の若手世代の理事として、同窓会・大学の発展に微力ながらも寄与できればと存じます。どうぞよろしく願っています。

さて、同窓会の課題にいつも挙がるのが若い世代の参加率が低いことです。これは若い世代にとって、同窓会にメリットを感じる人が少ないというの要因の一つかと思えます。しかし、今後のことを考えると、若い世代に参加いただくことは組織運営にとって必要不可欠です。私は数少ない二十代の理事として、若い世代の参加率を上げられるよう微力ながら努めていきたいと存じます。どうぞ、よろしく願っています。

略歴 2016年首都大学東京システムデザイン学部経営システムデザインコース卒業、2018年大学院博士前期課程修了。2018年非鉄金属メーカーに入社後、茨城県の事業所のIT部門に勤務。

八木 隆 (都25・工・機械)

この度、同窓会理事に就任いたしました八木隆です。理事会では組織整備委員会に所属しております。

大学は、研究と教育を行う機関とされています。しかし、大学に在籍

している学生には、これが単に「大学教育を受けられる」「研究に参加できる」だけでなく、すでに社会で活躍している先輩たちとのつながりやネットワークに加わるという意義もあります。

同窓会とは、卒業生の交流の場であると共に大学と社会との架け橋であると思います。学生の就職活動や就業後に社会人としての活躍を助ける役割もあります。大学は「研究」「教育」に加えて「人的交流」の三本の足で立つことになり、その存在は今後も盤石なものになると思います。

同窓会が社会との架け橋になれるよう微力ながら同窓会活動のお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

略歴 1977年都立大学・工学部・機械工学科卒業。アイダエンジニアリング株式会社

山川 徹 (都22・法・政治)

この度、同窓会理事に就任いたしました、山川徹です。どうぞよろしく願っています。

1983年に日立製作所を退職し、中小企業に転職したときに、自分のネットワークを創ろうと真っ先に都立大同窓会に飛び込みました。その後、91年にキャンパスが南大沢

に移転した際に、同窓会行事として「さよなら八雲」が開催され、実行委員会に参加しました。それがご縁で出会った先輩の会社に入社しました。その先輩が東京都立大学同窓会の現会長です。

同窓会は、先輩後輩という同窓の誼で、色々な方々と理屈抜きで交流や親睦を深めることができます。人生が楽しく豊かになります。大学に入学して卒業しただけでは、もったいないと実感しています。

今春、東京都立大学に名称が変わり、新生都立大が誕生しました。同窓会も都立大同窓会の名の下に、首都大、旧都立大、旧科技大、旧保科

新任評議員就任挨拶

巖 千晶

(首09卒・健康福祉・看護)

首都大学東京健康福祉学部放射線学科の関根紀夫准教授の推薦をいただき評議員に就任いたしました。

私は首都大学東京健康福祉学部1期生として卒業し、母校で学んだ知識・精神力を活かし、助産師として2カ所の病院、また専門学校教員として勤めて参りました。

大卒業生が集結し、新たな歴史の一步を踏み出しました。私は、出身校は違っても全ての卒業生が「ワン・都立大」で結束し、母校の発展に貢献できるよう同窓会活動に尽力したいと願っております。

略歴 1974年都立大学・法学部・政治学科卒業、1973年に米國アイオワ大学留学、1975年に同大学院修士課程修了。1975年日立製作所入社、1983年退職、中小企業を経て1991年㈱日税ビジネスサービスに入社、現在にいたる。2019年6月より社会福祉法人八王子いちよりの会理事長。

その後、首都大学東京人間健康科学研究所看護科学域博士前期課程を卒業し、今は母校の健康福祉学部看護学科助産学専攻科の助教として2年目になります。母校で働けることはとても嬉しく、充実した日々を送っております。

今回は、首都大学東京になってからの評議員は少ないとお聞きしました。長い間母校にお世話になっていた経験を活かし、今までの感謝の気

小川 雄二郎
おがわ ゆうじろう



持ちを本学及び同窓会のさらなる発展を願う、微力ではありますがお役に立てることができたらと精一杯頑張つて行きたいと思えます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

略歴 2009年首都大学東京健康福祉学部看護学科卒業後、大森赤十字病院、賛育会病院、亀田医療技術専門学校で働き、2018年首都大学東京人間健康科学研究科看護科学域博士前期課程を修了後、現在にいたる。

河井 信
かわい まこと



このたび同窓会理事の安藤拓哉さんからの推薦をいただき評議員に就任いたしました。

岩崎 真典 (科技02・生産システム工学)

小柳 淳
こやなぎ じゅん



私は都立科学技術大学生産システム工学を経て、06年に同大学工学研究科インテリジェントシステム専攻を卒業し、IT企業に就職しました。そこで金融や食品といったさまざまな業界システムと向き合うにあたり、大学で学んだ知識は大いに役立ちました。

その後、人助けをより身近に感じられる仕事にかかわりたいという気持ちで芽生え、10年に消防業務に転職しました。まったく新しい仕事でしたが、やはり大学やIT企業で学んだ知識や経験が、現在の自分を後押ししてくれています。

首都大学東京には自由で柔軟な風

土があります。本学で学び、信頼できる仲間との絆を結んでいく貴重な時間は、未来の糧となると確信します。そのような本学の素晴らしい環境と同窓会のさらなる発展を願う、微力ではありますがお役に立てるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

略歴 2006年科学技術大学工学部生産システム工学科大学院卒業。IT企業に入社、10年後東京消防庁に入庁、人事課勤務等を経験。

小川雄二郎 (都16・工・土木)

このたび同窓会評議員に就任いたしました。

私は63年に工学部土木工学科に入学し、学部、修士課程、助手、博士課程と13年間駒沢キャンパスで過ごしました。卒業後はコンサルタント、国連、国際機関、大学と場所は変わりましたが、一貫して防災分野で働いてきました。この4月からは一般財団法人アジア防災センターで、微力ですが国際防災協力にかかわっています。

土木工学科16期生はいまだに同期会を年2回開催しており、半数程度の同期生が参加しています。しかしながら学科、学部を超えた大学との関わりは深くありませんでした。

大学時代はオーケストラでコント

ラバスを弾いていて、さまざまな学部の友人がいたのに、今は途絶えています。昨年夏に後期高齢者になり、今までより広い範囲の人たちと関わることが大切だと思ふようになって、同窓会に参加させていただくことといたしました。

略歴 1968年都立大学卒業後、大学院に進学。1972年UCLA工学科修士。1993年東京大学博士(工学)。

都市防災研究所、国際連合地域開発センター、アジア防災センター、富士常葉大学環境防災学部をへて、現在、一般財団法人アジア防災センター理事長。

河井 信 (都16・経済・経済)

黒川信副会長の推薦をお受けし、評議員に就任いたしました。

じつは在籍していた自転車部とは毎年OB会に出席し、同期とは年4回の呑み会を欠かさぬ仲なのですが、これまで同窓会にはあまり関心がありませんでした。

ところがゼミ先輩の加藤充子監事と自転車部後輩の黒川信副会長に同窓会報編集を手伝うよう、前後ろからに迫られたとき、さしたる抵抗感もなく引き受けてしまいました。略歴にも記すように、卒業後は編集一筋だったからです。

しかしお二人との再会をきっかけ

に、同窓会のいろいろな会議や合会にも、招集やお誘いがかかるようになりました。その流れで評議員にも推薦された次第です。

評議員会は同窓会の最高議決機関だそうです。そこに加わるのは心もとない私ですが、本学および同窓会のさらなる発展に微力ながらも寄与できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

略歴 1968年都立大学経済学部・経済学科卒。同年講談社入社。少女月刊誌、少年週刊誌、科学月刊誌、自然科学新書というバラエティーに富んだ4つの編集部を経験した。定年後も10年間、フリー編集者として新書編集部で編集を請け負っていた。

小柳 淳 (都34・法・法律)

都立大を卒業し、あつと言う間に年月が経ち、還暦を過ぎてしまいました。

卒業後は鉄道会社の営業・販促や広報などにかかわってきました。中でも印象深い仕事のひとつは、訪日旅行者を誘致する、今でいうとインバウンドを、まだ先がけともいえる99年に始めたことです。そのこともあって国土交通省・観光庁からVISIT JAPAN大使に任命されて現在についています。

また、83年にたまたま訪れた香港



下川原(佐藤) 英理
しもかわら えり



島袋 翼
しまぶくろ たずく

でパワフルな街に魅了されました。繰返し旅するとともに、以来香港に關する本を何冊か出版しました。

この間は些事に追われ、大学・同窓会に触れたのは、八雲クラブで香港やインバウンドビジネスのお話をしたことで、同窓会寄付講座にて講義をするため17、18年に南大沢キャンパスを訪れたことくらいだった気がします。いい歳をして教壇に立つてみると、まじめでおとなしい学生さんがたくさんいました。大学の気質はDNAのごとく受け継がれるのでしょうか。

若い時期に学んだ想い出と卒業後を結ぶのが同窓会かと思えます。内向きに固まらない良い校風と、複数校が統合した新・都立大の幅広さを意識し、努力してゆきます。どうぞよろしくお願いいたします。

略歴 1981年都立大学法学部・法律学科卒。1981年小田急電鉄(株)入社。1908年VIST JAPAN大使就任。2012年(株)小田急トラベル社長。2013年小田急電鉄(株)取締役。2017年(株)ホテル小田急サザンタワー社長。NPO法人日本香港協会理事。日本旅行作家協会会員。

島袋 翼
(科技04・航空宇宙システム工)

このたび同窓会評議員に就任いた

しました。

学部生のころは科技大の文化祭(楓祭)の実行委員会に所属して、科技大を盛り上げていこうと仲間とともに活動し、たいへん楽しく、充実した学生生活を送ることができました。

学部4年から修士2年までの3年間は連携大学院の学生として、情報通信研究機構の電磁波計測部門ライダグループに所属し、ドップラーライダーに関する研究を行う機会をいただきました。第一線の研究機関で研究活動を行うという貴重な体験を通じて、現在の技術者としての基礎が培われたと考えています。

学生時代に賜りましたご恩に応えるためにも、本学および同窓会のさらなる発展を願ひ、微力ではございますが、同窓活動を盛り上げて行きたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

略歴 2004年東京都立科学技術大学工学部航空宇宙システム工学科卒。2006年同大学院工学研究科航空宇宙工学博士前期課程修了。同年、宇宙技術開発(株)に入社。

下川原(佐藤) 英理
(科技13・電子)

この度同窓会評議員に就任いたしました下川原(佐藤) 英理です。98

年に東京都立科学技術大学に入学、学部から修士課程へさらに博士過程へと進学し、9年間もお世話になりました。さらにご縁あって、07年に首都大学東京の助教として採用頂きました。

私が卒業した研究室(現在はその研究室の助教です)で、現在の所属でもありますが)では、毎年OB会が開催されており、昨年のOB会では、50代から現役生までの幅広い年代から約40名が集まりました。学生のころは「縁」の重要さに気付かずOB会もただ出席するだけでした。しかしながら、社会人となり、様々な人との交流を通して、つながることの大事さを実感しています。日本には700校以上の大学がありますが、その中の首都大学という同じ大学で学んだ仲間であることはまさに「縁」です。同窓生の皆様の「縁」の場として、同窓会の活動に微力ながらお役にたてるよう努めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

略歴 1998年都立科学技術大学工学部入学、同大学院に進学。2007年工学研究科システム基礎工学専攻。工学博士。同年4月より、首都大学東京システムデザイン学部助教。

「表紙のことば」

小湊鐵道旅行紀

上総大久保駅

岩下 慎吾

(首都大学東京大学院・

都市基盤環境学域・博士研究員)

4月初旬、小湊鐵道には多くの駅に桜と菜の花が咲き誇ります。作者は期間限定の「里山トロッコ号」に乗車し、窓ガラスのない最後尾にいました。光り輝く里山中、柔らかな暖かさに包まれ、列車は揺れながらゆっくりと進んでいきます。踏切は昔ながらの鐘の音、沿線で農作業中のお年寄りもこちらに向かって手を振ります。今では少なくなった日本の原風景がここにはあり、おそらく南大沢キャンパスのある多摩ニュータウンも、かつてはこのような風景が広がっていたと想像されます。普段は油彩を描く私ですが、本作は稀に描く水彩作品であり、思いのほか良い雰囲気になりました。

全評議員のご紹介

(2020年1月15日現在)

八松木石森林黒石諏池高石松佐大大吉小高跡根中久加光重遠池松田澤大稲小村中鈴野池笹岡吉南松田後桑氏
ツ浦村原 石橋訪辺見館見久石関原松橋部谷野崎藤藤原藤田本中井塚垣野山村木原田川田野 岡中藤野 英名
橋 橋 内 澤 間 不 信 芳 義 輝 武 雅 充 康 好 慶 昶 之 陽 祥 久 禮 和 元 泰 和 千 和 英 名
明彦司裕保弘輯治弘男夫男和一夫誠男雄哉彦彦博力子次三昭傳努奈助造敏彦男功剛三郎浩司延里夫博彦 卒期
1515141414141413131312121211111111111010109 9 9 8 8 8 7 7 7 6 6 5 5 4 4 4 3 3 3 2 2 1 1 卒期
物経電機物経経建機生工機経法工電化経法工化経電経社化物経経経法法法工経経建化法建機経経工土建経学
理济気械理济济築械物化械济学化気学济学化学济気济会学理济济济学学学学化济济築学学築械济济化木築济科
出身者

滝八中千代山横田萩伊吉小近榎大毛内廣佐小中山丑横戸奥篠宇河高遠末水吉大本久諸中永芦嶋宮鳥塚小浜岡河白
口木村 本川中原藤田泉藤本平利山瀬野田島川山山辺田 賀口橋藤光津田久橋保角島田沢田崎居本川田 井銀
那 智 邦 信 辰 雅 哲 秀 晃 史 津 省 一 俊 千 康 文 修 秀 宣 正 ま 俊 正 唯 丈 憲 平 清 正 修 照 雅 二 敏 秀 征 太
亨 隆 和 子 明 茂 吾 彦 俊 夫 衛 隆 司 子 子 蔵 孝 郎 明 徹 男 博 博 一 一 博 修 誠 男 忠 子 雄 雄 弘 夫 治 三 巍 隆 大 治 男 敏 郎 男 一 信 郎
2625252424242424232323232323222222222222221212121202020202019191918181817171717161616161615
数機法工建機物仏建機物経経政法法建建機化政政法建建経心電経政心社数経政電経英建建土経経土土電地経機
学械律化築械理文築械理济济济法律律築築械学治治律築築济理気济治理会学济济気济文築築木济济木木気理济械

藤須横佐中久高山川大山村村菱佐遠猪北谷橋中石佐笹保市岡吉渡立細植谷左小坂曾吉黒石内諸大伊江村清植
田藤山藤村保部川元川崎中上沼々藤瀬原貝詰城野原藤木延原安田邊花井村澤野 野
理 比 百
貴枝英武貴義明浩呂克忠直 幹 康 史 剛 修 恵 祐 國 敏 賢 雅 合 勇 淳 要 士 研 光 正 信 悦 幸 敦 茂 敏 泰
男子明史司丸敏幸秋頼夫樹章夫伸洋夫隆等規志一一一弘薫秀二一子宏治仁一涉淳二才二信一治行子彦樹久弘
444443424242414040393938383837363635353434343333333232323232313030292929292828282827272726262626
機化化化経法英物教士経経経経物工地建地法法土電物電化経政法工化法経法法中機生経工機法法工電電電
械学学学济律文育有木济济济理理理築理律律律木気理気学济治律化学律济律律律文械物济化械律律化気気
出身者

関根氏 旧青鳩会(東京)立医療技術短期大学出身者
紀名夫 1 卒期 放学科
上島宮岩下安渡渡吉福加榎君松皆松小十佐横 旧東京都立科学技術大学同窓会出身者
嶋袋田崎川藤部辺田崎藤本和木川浦原河藤川氏
聖 真 真 英 拓 武 昭 一 昌 洋 公 品 慶 弘 正 慎 名
人 翼 行 典 理 哉 夫 勇 光 伸 彦 史 之 一 子 総 道 維 一 二 卒期
1815141313121110 9 8 8 7 6 5 4 3 3 2 2 1 卒期
生航機生電電航機機管機機電機航管機管管電学
産空械産子子空械械理械械子械空理械理子科
電生経地政史電機経物政政経経経経建政法
気物济理治学気械管理治治济济济築治律律
河鈴村島伊稻鯉清富津井浅米三本川橋池押上
浪木瀬山藤野淵水田田上見川澤多井田田川野
祐 甲 有
天美之 洋 久 徹 清 雄 慶 拓 佳 祥 里 庸
良子助久平智滋英明元航介一光己和子宏子介
5656565454545353515151515049494948474645
電生経地政史電機経物政政経経経経建政法
気物济理治学気械管理治治济济济築治律律
旧青鳩会(東京)立保健科学大学出身者
原小飯来小齋吉河古米西
嶋谷塚間笠藤野野川澤形
由智弘尚夕晴光順純勝
涉恵裕展和子美伸光子宏
121210 9 8 7 6 3 3 2 1
放放放作理学
射射射業学
理理放理理地理作理看放
学学射学学域学学業学護射

藤吉岩中酒荒津金谷上國島岩岡青大三橋高原巖石井 首都大学東京出身者
田原藤小井久井屋野廣山下本木庭河坂田 井上氏
涼 碩 理 李 文 智 高 奈 里 慎 亜 美 貴 知 智 康 千 陽 名
平 智 董 佳 佳 哉 美 翔 暉 子 美 吾 依 穂 子 涼 佳 仁 生 晶 介 雅 卒期
191917171717161616161615141414141211101010090905 卒期
航知航生生経経経経法人自基生生看法生経法看法放学
空能空命命営シシ営律類然盤命命護律律命営律護律 科

近藤 常葉
こんどう ことば



2018年3月首都大学東京健康福祉学部看護学科卒。同年4月聖路加国際病院へ入職。

Shikha Singh
シカ・シン



インド出身、バナスタダリ・ヴィダヤビズ大学生物科学科修士修了、首都大学東京生命科学専攻、生命科学を勉強中

大月 聡子
おおつき さとこ



2011年3月物理学修士修了、4月㈱Plydati起業代表取締役CEOに就任。17年に独自サービスのAI搭載アドフレウド対策ツール「SpiderAI」をリリース。19年6月にグローバルピッチイベント「Get the Reg」日本大会で優勝、日本代表として世界大会5月に「Ficon」で2019「F50 Winner」を受賞。現在はTOP12にノミネット。11月には32億円の資金調達し、グローバル展開を強化。プライベートでは2児のママとして奮闘中。

同窓生はいま

一日カフェ企画に参加して

近藤 常葉
(首都大・18年卒・健康福祉学部)

「なんでこんなに辛いんだろう...」社会人一年目のある暑い日を迎え、ふと空を見上げて考えていました。大学時代と何が違うのか。

学生の頃の私は、所謂活動的な人間でした。インターンやボランティアで寝不足の日々。正直、成績は優秀ではなかったけれど、人との本当の関係性や理想の大人像を沢山みることができました。沢山の仲間や友達と笑い合って、泣き合って、そして心が動く経験を頂きました。

しかし、自分が看護師として社会に出ると、相互に関心の無い人との関わりばかり強要され、口角が上がるとのを忘れる日が多かったです。生きていくのが辛い。周りに耐えろ、越えろ、成長しろ、そんな言葉をかけられたところで立ち直れる訳もなかった。ただだんだんよくなった。

そんな矢先、共に同じNPOで活動していた友人が「ただいま」と

を認められる、そんな場を作りたい」と今回の一日カフェ企画の話をしてくれました。もちろん即答。一年越しで計画し、「イホヒて〜梅雨の処方箋」を先日実施することができました。当日はすっかり赤字で終了しましたが、来てくださった方全員が笑顔で帰ってくれたことだけは胸を張って言える成果です。

たった一日で何かが変わるとは思っていないですが、「戻ってこられる場」を私だけが求めているのではないと感じました。今後は、形を変えてでも、大切な人たちの「戻ってこられる場」を仲間と作っていかうと思っています。そしていつか、私自身が関わっていく人が笑顔になってくれる、そんな場になれたらなと思っています。

日本が大好き

シカ・シン
(首都大・生命科学・博士課程在籍中)

私の名前は Shikha Singh、ニックネームは Sweety です。インドから

来ました。26歳です。インドで生物学の修士号を取得しました。現在首都大学東京で博士課程に在籍中です。私の趣味は料理と、バドミントンです。私は研究の合間にバドミントンを楽しんでます。日本は世界で最も安全で平和な国の一つです。ご承知のとおり、日本は教育水準が高くとても美しい国なので、3年間の予定でここに来ることを決めました。ここで生活すればするほど、私は「日本に恋」をするようになりました。その環境、人、文化、技術等、どんどん日本に夢中になっていきます。私にとり「大きな親友」です。

日本の天候はインドとは大きく違います。息をのむように美しい四季を初めて体験した時は、とても感動しました。春には桜、夏には花火、秋には紅葉、そして美しくも白い冬、私はそれらすべてが大好きです。私は日本語をあまり話すことができませんでしたが、沢山の友達が出来素晴らしい経験をしています。皆とてもフレンドリーで親切で、私は彼らの言葉と文化を共有しています。また三月に先輩の久崎さん宅のひな祭りパーティーに参加する機会がありました。多くのエレガントで豪華なアクセサリを身に付けたひな人形を飾り、そのひとつずつの成り立ちを聞きました。私はそれが予想よりもはるかに複雑だとわかりました。又踊りの先生に着付けをしても

らいました。これは私にとって素晴らしい経験でした。色々日本の文化に触れ、感激しつつ「親友の日本」をたっぷり味わっています。とても幸せです。



世界に名を馳せる
スタートアップ企業として

大月 聡子
(首都大11年・物理学修士課程修了)

「アドフラウド」という言葉をご存知ですか。「アド＝Ad(広告)」+「フラウド＝Fraud(詐欺)」の意味の通り、ネット広告においてDoTやプログラムなどを使って表示回数やクリック回数、インストールド件数などの「成果」を水増し不当に広告報酬を搾取する詐欺行為です。世界的に問題視されていますが、日本で認知度は低く、大半の企業が対策を講じておらず、気づかぬ間に被害に遭っているのが現実です。

河野 純子
かわの じゅんこ



86年都立大卒業後、㈱リクルートに入社。「とらばいゆ」編集長を経て、2008年に住友商事㈱に転身。フアツシヨンの教育分野での新規事業開発に取り組み、17年に退職。現在は慶應義塾大学大学院で社会イノベーションを学びながら、個人事務所での活動を開始。ライフシフト・ジャパニアン執行役員CMO。

高田勇紀夫
たかだ ゆきお



74年都立大学・経済卒。74年日本IBMに入社。営業所長、米国IBM勤務、CS担当、内部統制担当などを歴任し、2011年に定年退職。12年から介護事業会社勤務。17年に保育士試験に合格。都内の認可保育所に保育士として勤務。3歳児19人のきりん組の副担当。幻冬舎より「じーじ」、65歳で保育士になったよ」を出版。

弊社サービス「Spider.A.F.」で検知した額だけでも26億円規模（2018年の1年間）となっており、日本での被害も深刻であると同時に、マフィアや反社会的勢力の温床になっていることも大きな社会問題となっています。「Spider.A.F.」ではブラックボックスとなっているネット広告のデータを可視化し透明性を担保、本来なら掛けるはずのない不要な広告費の削減ができます。今年11月に資金調達を実施し事業拡大に向けて邁進中です。日本の広告業界の健全化のために取り組んでいくことはもちろん、グローバルに活躍する日本発のスタートアップとして未来を切り開いていきたいと思っています。

人生100年時代を見据えて
河野 純子（都立大34心理）

高校時代から雑誌作りに興味があり、都立大卒業後は男女差別のない自由で活気のある社風に惹かれて、リクルートに入社しました。希望通りの雑誌編集の現場で若いころからたくさんの方のチャンスをもたらす、思いっきり仕事を楽しんだ22年を経て、キャリアの幅を広げるために住友商事に転職したのは44歳の時です。同社では、新規事業開発を担当し、仲間にも恵まれて充実した時間を過ご

しました。

次の転機は、53歳で訪れます。手がけていたプロジェクトが一区切りついたときのこと。人生100年時代、85歳まで働くとしたらちょうど折り返し地点にいると認識し、もう雇われる働き方は卒業し、これからの30年はずっと自分らしい働き方にチャレンジしようと思ったのです。まずはこれからの自分にとって必要だと思ふことを学ぼうと考え、アメリカへの語学留学を経て、現在は大学院で社会イノベーションを学んでいます。同時に個人事務所を設立し「意義あることを、楽しい仲間」という方針で仕事を開始しました。

そのひとつが、人生100年時代のライフデザインを提案するスタートアップ、ライフシフト・ジャパンでの活動です。同社では、新時代のロールモデルを発掘し、インタビュアを続けています。その数はすでに100人を超え、100年ライフを楽しむための「ライフシフトの法則」も見えてきました。昨年末にはそれらをまとめた共著「実践！50歳からのライフシフト術」（NHK出版）を出版。現在はその法則をより多くの人に知ってもらい、豊かな100年ライフの設計に活かしてもらおうためのワークショップの開発も手掛けています。人生100年時代、まだまだ時間はたっぷりあります。これからも変化をおそれず学び続けながら「自分が主



人公」の人生を楽しんでいきたいと思っています。

「実践！50歳からのライフシフト術」（NHK出版）出版記念パーティにて

68歳の現役男性保育士の奮闘

高田勇紀夫（都立大22・経済）

私が保育士になろうと決断したのは、65才の時であった。「待機児童問題」だ。子どもを保育所に入れたくても入れることができない女性達の悲痛な声や悲鳴を聞いて、15年12月に保育士になる決意をした。そして、1年4ヶ月後に保育士となった。

それまで保育士の仕事が何かも知らず、保育士が国家資格であることさえも知らなかった。ピアノも弾けない。今どきの子ども達の好きな歌も歌えない。女性の典型的な職場にう

まく適応できるのか。若くはないし、未経験の環境でお役にたてるのか。そんな不安や疑問が一杯あった。でもいたたまれなかった。なにかやらねば、という気持ちがあふれた。

17年4月から、私は都内の認可保育所の保育士として、3才児19人の副担任である。子ども達と接する日々が楽しく、やりがいを感じていると同時に、子ども達の成長について保護者の方々と話す時、お役に立っているとの手ごたえを感じる。

もともとはIBMに38年働いていて、保育についてまったく理解していなかった。しかし保育士の国家資格試験に合格するための「学び直し」自体は貴重な経験であった。日本人の健康寿命も延び、高齢者は自分の経験を生かし、「学び直し」を通して新しい知識を得て社会に役に立つことが大事である。「人生100年時代」を考えると、シニアが日本の危機である「待機児童問題」や「少子化問題」に挑戦することに価値があり、生きる喜びであると思える。私の経験や失敗を参考に、一人でも多くのシニアが保育士に手をあげてほしいと思う。



災害支援ボランティア

平時にできないことは非常時にはできない

虎谷 彰子 (医技短7期・地域看護専攻)

特別区は各区が独立した自治体だが、災害時に東京都が被災地支援に入る場合には、区長会の決定に基づき東京都に続きローテーションを組み対応する仕組みがある。この仕組みに基づき、世田谷区では阪神淡路、中越、東日本、熊本などの大規模災害時に保健師を派遣し避難生活を送る住民の健康管理を担ってきた。

虎谷 彰子
とらたに あきこ
医療技術短期大学地域看護
学専攻卒業後、世田谷区役所
で保健師として勤務し現在
に至る。



平成30年9月の北海道胆振東部地震では自治体間の連携という初の枠組みにより、厚真町へ世田谷区が第1班として支援に入った。町の保健師の立場で通常業務再開のための支援をするという点でこれまでとは役割が異なった。保健師が被災地の保健所の指揮を支援する「災害時健康危機管理支援チーム」に類似した役割であり、特別区でも初めての経験であった。

特別区は各区が独立した自治体だが、災害時に東京都が被災地支援に入る場合には、区長会の決定に基づき東京都に続きローテーションを組み対応する仕組みがある。この仕組みに基づき、世田谷区では阪神淡路、中越、東日本、熊本などの大規模災害時に保健師を派遣し避難生活を送る住民の健康管理を担ってきた。

出来ていない故に徒労感も大きくなっていた。

6日という限られた派遣期間ではあったが、町の保健師が共通認識できるとような保健事業再開に向けたロードマップを町の保健師と共に作成することができた。ロードマップの作成は、私の通常業務である企画業務と類似していた。目的別に必要な手順や考えうる課題の整理、対策案ごとに、段取りと役割分担、優先順位付けを行っていた。知らない自治体の業務ゆえ、担当者の意向を確認しながら進める必要があった。意見を出しやすくするには研修の手法が役立つ、自区の若手のチーム員への手法の伝達の機会にもなった。保健師活動の根幹となる公衆衛生看護は「実践の学」と呼ばれ、体験に基づき裏打ちされた根拠をその時の状況に応じてアレンジし、当事者自らを取り組めるよう支援する活動である。過去の被災地派遣の経験や、日頃の自区での防災への取組みが役立つ。

派遣終了後、首都直下型地震発生時の自区の課題について幹部に課

題提起する機会を得て、保健師間では課題検討を続けている。年度が変わった後も、区民向けのシンポジウムや避難所訓練で発言する機会を得て、区民に向けても情報発信を続けている。首都圏では人口規模が異なり、様々な混乱が事態を複雑にすることが懸念される。

平時に出来ないことは非常時にはできない。被災地の復興を願いながら、防災への意識を持ち続け、一つずつ課題解決していきたい。



評議員に立候補を お願いいたします

同窓会は、会員の皆さま方の参加によって運営されていますが、全員の参加は不可能ですので、評議員に会の意思決定に参加していただいています。

評議員は、規約第14条に定められた手続きで選出されていますが、ご参加いただける方、特に、若い世代の参加が少なく、将来、会の運営にも影響が出ることが危惧されます。

評議員には、年1回の評議員会への出席をお願いしていますが、これは、評議員による会の意思決定への参加と同時に会員の意見の伝達も期待しております。

評議員の責務の要約

*理事会から提出された議案の議決、予算・決算の承認、規約の改正、会長、副会長、理事、監事の選任に関する事項
(規約の詳細は同窓会のホームページを参照してください)

母校はいま

見出しの☆印は同窓会で支援している行事です。

「平成」最後になる

2018年度卒業式

2018（平成30）年度の卒業式・修了式が2019年3月22日（金）に南大沢キャンパス講堂大ホールで、3月25日（月）には荒川キャンパス講堂で行われました。

南大沢キャンパスでは9時30分よりシステムデザイン学部・システムデザイン研究科（455名）、11時より都市教養学部（文系）・人文科学研究科・社会学研究科（745名）、14時30分より都市教養学部（理工系）都市環境学部・理工学研究科・都市環境学研究科（871名）の3回に分けて式典が行われました。荒川キャンパスでは、11時より健康福祉学部・人間健康科学研究科（254名）の卒業式が行われました（各部の卒業生数の端数は多少増減があります）。

総卒業生数約2300名が新たに社会に送り出されました。

式典では、小池知事がビデオメッセージで卒業生を祝福しました。その中で知事は「平成という時代が終りを告げ、まもなく新しい元号が発表される。新たな時代の幕開けになる節目の年に新たなスタートを切る皆さんが、大きく飛躍することを心から祈っています」と祝辞を述べました。



美しく艶やかな和服姿で卒業式に参加した女子学生 右：南大沢キャンパス 左：荒川キャンパスにて

「首都大学東京」の大学名としては最後になる2019年度入学式

2019年4月4日（木）東京国際フォーラムで2019年度首都大学東京の入学式が挙行されました。

本年4月から大学名を「東京都立大学」と変更するため、昨年は「首都大学東京」の名称で行われる入学式は最後の式典になりました。

学部生1656名、助産学専攻科10名、大学院861名、昨年から設置された50歳以上を対象としたTMUプレミアム・カレッジの53名、合わせて2580名が入学しました。

上野学長は、「これからの社会に真に求められるものは、単なる知識を身につけるのではなく、思考力、判断力、俯瞰力、未知の領域に探索的能動的に挑戦する力を持ち、正解を疑い真理の探究をして欲しい」と式辞を述べました。

来賓として出席した小池知事は、「パラレルキャリアとして、本業にメリットをもたらすような、もう一つの仕事を持つようにし、学業の専門性に限らず経験したことのない世界に飛び込んで欲しい」、「世界に通用するように努め、多面的な思考が出来るようになって欲しい」と語りかけ、江戸時代の教育者、佐藤一斎の言葉を引用して、「生涯学ぶ姿勢を持ち続けて欲しい」と激励されました。

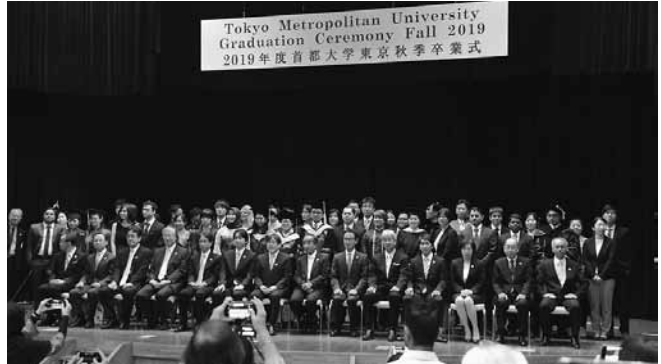


東京国際フォーラムの大ホールを埋めた新入生

2019年首都大学東京

秋季卒業式

2019年9月27日（金）に南大沢キャンパス講堂小ホールにおいて2019年度首都大学東京秋季卒業式が行われました。今季は、学部生7名、大学院生59名の合計66名（うち留学生43名）が卒業・修了しました。秋季は留学生の卒業生が多いことから、式典は英語で行われました。上野学長は式辞で「I'm sure that all of you will have enjoyable and fruitful success in your brilliant future」と述べられました。



秋季卒業式に参加した卒業生一同の記念撮影

2019年度首都大学東京

秋季入学式

2019年10月1日(火)、南大沢キャンパス講堂小ホールにおいて2019年度首都大学東京秋季入学式が行われ、新たに63名の大学院生が本学に入学しました。

上野学長は式辞で「私たちは皆さんの入学を諸手を挙げて歓迎します」と述べられ、更に、「皆さんが首都大学東京に在学する間、楽しく実り多い成功を収めることを確信しています」などと英語でメッセージを送りました。

☆第67回首都大学東京・

大阪府立大学総合競技大会

2019年7月5日から7日にかけて第67回首都大学東京・大阪府立大学総合競技大会が本学南大沢キャンパスを中心に開催され熱戦が繰り広げられました。

第66回大阪での大会は異例の大雨で中止になりましたが、昨年は心配された雨もなく、天候にも恵まれて無事開催することが出来ました。今年のキャッチフレーズ「一心」のもとお互いの大学同士のプライドをかけた熱戦が繰り広げられ、11勝8敗2分で本学が勝利を収めました。通算成績は、28勝34敗3引き分け2中止となり、未だに大阪府立大学にリードを許しています。



開会式に挨拶をされる本学の上野学長



今年のキャッチフレーズは「一心」でした

第38回首都大学東京・

横浜市立大学総合定期戦

2019年6月2日(日)横浜市立大学金沢八景キャンパスを中心に第38回首都大学東京・横浜市立大学総合定期戦が行われました。10対3で本学が快勝し2連覇。これで通算成績は29勝5敗3引き分け1中止となりました。



横浜市大戦で応援する本学の男女チアリーディング部

☆第7回プロジェクト奨励賞受賞者

2019年8月23日理事長室において第7回プロジェクト奨励賞の認証書授与式が行われました。

プロジェクト奨励賞は「大学に活気」「学生に志と活力」を生み出すような活動を応援するために設定された賞で、今回は左記の6プロジェクトが受賞しました。

*女子バレー部のチーム力強化向上
団体名 首都大学東京女子バレー部

代表者 関本夕貴(理工学系機械コース3年)

受賞理由 最近急速に順位を上げており、受賞を機に一層の活動を期待。

助成金額 10万円

*みやこ祭における節足動物園

Arthropodzooの開園

団体名 いきもの！サークル東京
代表者 杵掛 丈(理学部生命科学2年)

受賞理由 科学的興味を引き出すという工夫と苦労と熱意が感じられ、グッズの発売を考えるなど発想にも独自性がある。

助成金額 5万円

*2020年度鳥人間コンテスト

「滑空機部門」500mへの到達

団体名 人力飛行機研究会MAPPI

代表者 山本一摩 (SD学部電子情報シSTEM2年)

受賞理由

昨年が残念な結果に終わったが、今年はかなり的好成绩が期待できる。その場合の大学の知名度アップ効果は大きい。

助成金額 10万円

*大学祭期間中に開催する「体験！

化学実験2019」及び学外で実験する「出張！化学実験教室」

団体名 TMU-SFC・体験！化学実験実行委員会

代表者 野宮海音 (理工学部化学3年)

受賞理由 教育現場からの期待も多く社会貢献性が高い。

助成金額 10万円

*男子チアリーディング部

MAXONS 単独公演の成功

団体名 応援団男子チアリーディング部

代表者 島田康司 (人文社会系社会学3年)

受賞理由 最近イベント等では欠かせない存在であるが、それにとどまらず単独公演を通じて更に成長することを期待。

助成金額 10万円

*キャリア教育のNP0法人の設立

団体名 キャリア系企画サークルPotent

代表者 中島郁也 (SD学部経営シSTEM4年)

受賞理由 将来にわたって継続的に事業を続けるためと言う発想がユニーク。

助成金額 5万円



第7回プロジェクト奨励賞受賞者の記念撮影

☆☆平成30年度同窓会長特別表彰

平成30年度の同窓会長特別表彰は左記の4団体に決定されました。

2019年3月18日、本部棟大会議室において認証書授与式が行われ、各団体に表彰状と2万円の助成金が贈られました。

*人力飛行機研究会 MAPPI

申請理由 2018年度鳥人間コンテスト滑空機部門出場審査委員特別賞受賞

代表者 杉本 陸

評価 些細なミスで昨年の大会は残念な結果となった。しかしながらそれにくじけることなく、より一層改良を加えて、高い目標に挑む強い姿勢がある。また、注目度の高い大会であることを利用して、本学の名前をアピールする姿勢も評価できる。

評価 本来の運動部としてのラクビー部活動にも積極的に取り組んでおり、スポーツと社会貢献の両立という今後の運動部のあり方の一つの新しいモデルに挑戦しているともいえる。

*ラクビー部

申請理由 スポーツ活動及び社会貢献活動

代表者 柳田 亮

申請理由 プロジェクトシオンマップピングアワードVOL.3「優秀賞」受賞

*SABAS

申請理由 プロジェクトシオンマップピングアワードVOL.3「優秀賞」受賞

代表者 白井 奎太

評価 プロジェクトシオンマップピングアワードVOL.3「優秀賞」受賞

評価 技術進歩が著しいが、果敢に新しい表現技法の開発に挑戦、日本最大の若手のコンテストにおいて結果的には「テクニカルでは最も優れている」との評価を得るといふ立派な成果を上げた。



上野学長、黒石同窓会長と共に受賞者の記念撮影

*CORE

申請理由 高度2000mを超えるハイブリッドエンジンの開発・製作と打ち上げ

代表者 森 亮太

評価 技術的な面では昨年の失敗を踏まえ、様々な工夫、改良を

加えて、更に高度な目標に挑戦している一方、技術以外の面でも資金調達を始め、資材調達などで、積極的に外部に調整、協力を仰ぐことにより計画を進めており、マネジメントの点でもよく努力している。

Systems Design Forum 2019 を開催

システムデザイン学部・システムデザイン研究科では、研究活動及び成果、並びにコース（学科）・学域間で分野横断的に行っている研究活動について学内外に広く紹介すると共に産学公及び地域連携の可能性を見いだすことを目的として、毎年「システムデザインフォーラム」を開催しています。

昨年も、10月4日（金）日野キャンパスにおいて2019年フォーラムが開催され、2号館2階大講義室において、AIBO開発者である大槻正氏（ユニボット《株》代表取締役）により「創造への挑戦〜AIBO開発者が語るIoT、AI、ロボット〜」と題した講演と、和田一義氏（本学機械システム工学科准教授）による「デザイン×テクノロジー×オープンイノベーションで新たな産業創出を目指す『Future Convenience Store Contest』」と題した講演がありました。体育館では、システムデザイン学



最近の研究成果についてポスター展示や実物展示を行ったフォーラムの体育館会場

部・研究科の先端的・学際的な研究シーズが、プレゼンテーション形式で幅広く紹介されました。また、研究室・研究グループ等によるポスター展示や実物展示が行われ、最新の研究成果や取り組みについての説明がありました。

荒川キャンパスに

ボランティアセンターを開設

昨年10月、荒川キャンパスにもボランティアセンターがオープンしました。

当センターは、厚生棟1階保健室の斜め向かいにあり、中にはボランティア募集チラシ等が置かれているラックやミーティングスペースがあります。

ボランティアコーディネーター



新しく開設したボランティアセンター

は、週1回（火曜日または木曜日）センターに在室していて、ボランティア情報の提供や相談に応じています。

コーディネーターが不在の日でも、平日の9時から17時45分までセンターは自由に出入りが出来ますので立ち寄り下さい。

日本初の「子どもの貧困調査

研究コンソーシアム」を発足

首都大学東京、大阪府立大学、北海道大学、東京医科歯科大学、沖縄大学、日本福祉大学では子どもの貧困に関する調査研究に特化した日本初の研究コンソーシアム「子どもの貧困調査研究コンソーシアム」を発足させました。当該組織は、日本全体の子どもたちの貧困状態を調査し、子どもの貧困が地域によってどのような異なる影響を及ぼすのか、自治体の異なる政策が子どもたちの貧困にどの

ように効果的なのか等の政策評価を行います。本学の事務局は、大学院人文科学研究科子ども・若者貧困研究センター（センター長・阿部彰教授）昨年のみやこ祭の同窓会提供記念講演（講師）におかれています。

「五大陸国際学生シンポジウム」を本学にて開催

本学では、東京2020応援プログラムとして、東京都からの要請、予算措置に従い、オリンピックシンボルの由来である「五大陸」の名を冠した国際学生シンポジウムを昨年11月9日（土）南大沢キャンパス講堂大ホールにおいて開催しました。「グローバルシティーが拓くもの、多様性と調和／未来への継承」を全体テーマとし、上野淳学長の挨拶、小池百合子東京都知事の基調講演に続き招待外国人学生14名によるパネルディスカッション（コーディネーター・小池都知事、進行・綾部真雄国際センター長）と島田晴雄理事長の講演（学生提案の講評）がありました。

進行はすべて英語で行われ、20を超える国と地域から集まった学生から多様な意見を聞き、本学学生との国際交流を一層促進することが出来、東京2020大会の機運醸成に貢献した素晴らしいシンポジウムになりました。



小池百合子東京都知事を囲んで記念撮影をする各国の発表者

◎恒例の青鳩祭・みやこ祭を開催

青鳩祭：2019年10月19日（土）
20日（日）荒川キャンパスにおいて
第34回青鳩祭が開催されました。
20日には、テコンドーオリンピック
メダリスト岡本依子氏やパラテコン
ドー選手鴨脚知永氏・重水浩次氏・
石原和樹氏による「〜同じ競技を行
うものの視点から〜お互いを理解す
る」というテーマで講演会が催され
ました。

みやこ祭：2019年11月3日（日）
5日（火）南大沢キャンパスでは



青鳩祭ではオリンピック、パラリンピックメダリストによる講演会が催されました

みやこ祭が開催されました。3日
にはホームカミングデーを開催、午
中のセレモニーから多くの同窓生が
来場して賑わいました。今年の同窓
会記念講演は「子どもの貧困の実態
と首都大学東京の果たす役割」と題
して、日本における貧困、特に子ど
もや若者の貧困研究についての第一
人者である人文社会学部の阿部彩教
授の講演がありました。



みやこ祭で講演をされている阿部彩先生

「TMUプレミアム・カレッジ」は
本年も狭き門

昨年4月に南大沢キャンパスに開
講した「生涯学べる百歳大学」
として発足した「TMUプレミアム・カ
レッジ」は今年も「東京都立大学プ
レミアム・カレッジ」と名称を変更
し、第二期生53名の新入生を迎える
ことになりました。

今年156名の応募者があり、第一
次（論文）、第二次（面接）の選考
試験を突破して、約3倍の倍率を乗
り越え、めでたく入学できた優秀な
学生諸兄弟です。2020（令和2）
年4月より、引き続き二年目も学び
続けられる制度として、今年「専
攻科」を設置いたしました。当該カ
レッジの出願資格は、2020（令
和2）年3月31日現在、50歳以上の
者、日本の高等学校を卒業した者、
もしくはそれと同等と見なされる者
となっております。ちなみに受講料（授
業料）は年額20万円（入学金はあり
ません）です。

大学説明会

ポスターデザインコンクール

毎年7・8月に開催する本学の
大学説明会（オープンキャンパス）に
ついて、全国の高等学校へ配布する
ポスターのデザインは学内で公募さ



表彰されたポスターをバックに表彰者の記念撮影

れています。今年も12名の応募があ
り、石川理子さん（システムデザ
イン研究科インダストリアルアー
ト学域博士前期課程1年）が最優秀
品に決定しました。特別賞には徳
原知勲さん（都市教養学部理工学
系電気電子コース3年）が、佳作
には隅山侑衣子さん（システムデ
ザイン学部インダストリアルアー
ト学科2年）、山口千晴さん（シ
ステムデザイン研究科インダストリ
アルアート学域博士前期課程1年）、
遠藤友一さん（システムデザイン研
究科インダストリアルアート学域博
士前期課程1年）が選ばれ、1月22
日（水）6号館107会議室において表
彰式が行われました。

荒川キャンパス 新放射線治療室

私の研究室はがんを切らずに治す放射線治療に関係する研究を中心に行っています。放射線治療で用いるエックス線や電子線は人体に非常に危険なものです。そのため現在の放射線治療はがんのみを集中して治療するためにコンピュータ化により非常に高精度な計算と装置の制御により行われています。私の研究室では、

その中でも患者さんのエックス線画像やCT画像を用いて体内のがんを追跡する、がんをより鮮明に描出する技術の開発を行っています。このように書くときとスリットな研究室だと思われるかもしれませんが、実は私の研究室に在籍する学生にはテーマを決めてやりたいことをやってみてもらっているのが実際です。現状の研究内容を紹介しますと、新しい放射線治療の方法を模索するための電磁石による電子線の制御、放射線装置の動画評価のための3Dプリンタを用いた血管走行ファントム（模造品）の作成、Webカメラを用いた放射線計測法の開発など多岐にわたっています。そのため、ゼミなどで私が混乱することもしばしばです。今年度は放射線治療装置（直線加速装置）が更新されたこともあり、多くの学生が私の研究室に入ってくれました。新型の装置は、がん治療専門病院や大学病院で現在行われている高精度放射線治療を計画、検証、照射と実際に行うことができ

るもので、体表面の画像撮影による腫瘍の追跡や同期などの機能も搭載されていますのでより研究の幅が広がりました。

私が研究室の学生にいつも言っている言葉は、「何か新しいものを創ろう」です。現在はコンピュータを用いて様々なものをつくることのできるため、私の研究室に入ってきた3年生にはまずプログラミングに慣れさせてもらっています。「プログラミングは大嫌いなんですよ」という学生がなぜか私の研究室に入ってくる成した3次元の形状が3Dプリンタで実物になったり、動画中の動く腫瘍をうまく追跡できたりすると興味を持って（仕方なくかもしれないが）勉強を続けてくれるようになります。また、同様の経験を積んできた大学院の先輩からの助言などでもらえるようで、4年生になるまでには自分が考えたものを大体作れるようになってくれます。健康福祉学部の4年生は就職活動または大学院進学、臨床実習、卒業研究そして国家試験と大忙しになります。私の研究室の学生にはさらに必ず学会発表することと指導しているため、7月くらいにはいやが上にも研究室はにぎやか（？）になります。私が部屋に入ると学生から質問攻めになることも多くなります。このときいつも学生の新しい成果や発想を聞き、

優秀だなど思っています。学会発表前に大学院生を含む全体ゼミで多くの指摘をされ、発表では緊張していた学生が、発表後の飲み会で見せる表情を見るのが私は好きです。うまくいっても失敗しても達成感を感じむ姿に、やっつけてよかったと思ひ、またこれも何度目かなと思うことがあります。

研究室の学生の就職先も多様で、診療放射線技師として病院で働く以外にも、大学院を出ると医学物理士として臨床に携わることもあり、また医療系の企業に開発部門で就職するようにもなりました。ただ、そのような進路に進むためにも国家試験は重要です。ですから、研究室にて私はいつも思っています。「国家試

験、合格してね！」と。
（明上山 温 健康福祉学部放射線
科学域 准教授）



新しい放射線治療装置 (Elekta Versa HD)
天井に設置されているのが体表面追跡カメラと
超音波走査プローブの位置検出カメラ



新しい放射線治療装置 (Elekta Versa HD)
一番大きいのが高エネルギー放射線の
照射ヘッド、その左右には診断用エッ
クス線発生装置とフラットパネルがあ
り、回転してCT撮影が可能



2020年1月17日、ゼミ後の集合写真

□ 大学事務局からのご報告 □

2020年度 入学者選抜試験出願状況 (前期+後期)

全学部合計	健康福祉学部				システムデザイン学部				都市環境学部				理学部				経済学部	法学部	人文社会学部	学部									
	小計	放射線学	作業療法学	理学療法学	看護学	小計	インダストリアルアート	航空宇宙システム	機械システム	電子情報システム	情報科学	小計	都市政策	観光	環境応用化学	建築	都市基盤	地理環境	小計	生命科学	化学	物理学	数理学	経済経営	法学	小計	人文	人間社会	学科
1194	120	30	20	25	45	258	40	38	72	68	40	195	35	25	38	38	37	22	139	30	38	36	35	150	176	156	61	95	募集定員
7885	602	224	76	111	191	1722	273	235	521	310	383	1402	236	221	195	442	201	107	1108	177	411	257	263	833	1170	1048	388	660	出願者数
6.6	5	7.5	3.8	4.4	4.2	6.7	6.8	6.2	7.2	4.6	9.6	7.2	6.7	8.8	5.1	5.1	11.6	5.4	8	5.9	10.8	7.1	7.5	5.6	6.6	6.7	6.4	6.9	出願倍率

2019年4月1日付 首都大学東京名誉教授称号授与者

氏名	所属	氏名	所属
岡部 卓	人文社会学部・人間社会学科	大橋 隆哉	理学部・物理学科
山下 利之	人文社会学部・人間社会学科	加藤 直	理学部・化学科
濱谷 直人	人文社会学部・人間社会学科	可知 直毅	理学部・生命科学科
山田 昌久	人文社会学部・人文学科	山田 幸正	都市環境学部・建築学科
岡崎 一	人文社会学部・人文学科	多氣 昌生	システムデザイン学部・電子情報システム工学科
福永 力	理学部・数理学科	浅井 雅人	システムデザイン学部・航空宇宙システム工学科

2019年4月1日付首都大学東京名誉教授のうち、情報提供同意者の情報のみを記載

2019年3月31日付で退職された教授・准教授

学部	学系等	コース	氏名	職位	学部	学系等	コース	氏名	職位
人文社会	人間社会学科	社会福祉学	岡部 卓	教授	法学部	法学科	法律学コース	種村 佑介	准教授
人文社会	人間社会学科	心理学	山下 利之	教授	理学部	数理学科		福永 力	教授
人文社会	人間社会学科	教育学	濱谷 直人	教授	理学部	物理学科		大橋 隆哉	教授
人文社会	人間社会学科	教育学	西島 央	准教授	理学部	化学科		加藤 直	教授
人文社会	人間社会学科	言語科学	藤川 直也	准教授	理学部	生命科学科		可知 直毅	教授
人文社会	人文学科	歴史学・考古学	山田 昌久	教授	都市環境	建築学科		山田 幸正	教授
人文社会	人文学科	表象文化論	岡崎 一	教授	システムデザイン	電子情報システム工学科		多氣 昌生	教授
人文社会	人文学科	中国文化論	平井 博	教授	システムデザイン	航空宇宙システム工学科		浅井 雅人	教授
人文社会	人文学科	英語圏文化論	ロバート ブロック	准教授	健康福祉	理学療法学科		新井 光男	教授
法学部	法学科	法律学コース	三代川 三千代	教授					

2020年度 東京都立大学 教員免許状更新講習の開設について

平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されました。本学では、教職課程を有する大学として、本学卒業生に対する責任及び社会貢献を果たすものとし、毎年、現役教員を対象にした講習を実施しております。本学卒業生で受講対象者となられる方は、是非懐かしい母校のキャンパスで講習を受講してみませんか。

2020年度 東京都立大学 教員免許状更新講習 開設一覧 (予定)

月日	曜日	講習時間	講座名	定員
8月17日	月	6時間	【必修】教育の最新事情	50名
8月18日	火	6時間	【選択必修】学校、家庭、地域の連携	70名
8月19日	水	6時間	【選択】授業でのICTとマルチメディアの活用	25名
		6時間	【選択】歴史学研究の現状と課題	25名
		6時間	【選択】数学の考え方とその応用	25名
8月20日	木	6時間	【選択】学校と地域における安全・防災教育の展開	50名
		6時間	【選択】哲学概論	25名
		6時間	【選択】ゲノム編集技術を用いた医学研究の最前線	25名
8月21日	金	6時間	【選択】高校生物課題研究～生態、系統、行動	15名
		6時間	【選択】高校生物課題研究～生化学、生理、発生	15名
		6時間	【選択】多文化・多民族共生と教育	25名
8月21日	金	6時間	【選択】最近の地理学	25名
		6時間	【選択】物理における最新の研究と物理の授業法	25名
8月24日	月	予備日	-	

- * 受講者募集期間は2020年4月22日(水)～2020年5月22日(金)の予定です。
- * 詳細は本学の教員免許状更新講習HPをご覧ください。<http://www.kyomenkosin.tmu.ac.jp/>
問合せ先：TEL 042-677-1111 (教務課 教員免許状更新講習担当をお呼び出してください)

大学名称変更について学長挨拶



東京都立大学 学長 上野 淳

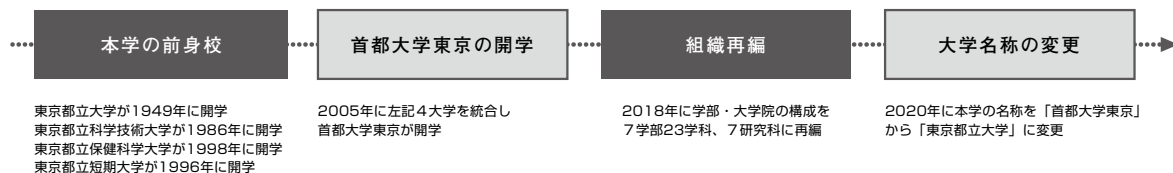
「首都大学東京」は、2020年4月から大学名称を「東京都立大学」に変更いたします。

首都大学東京は、2005年4月に東京都立大学、東京都立科学技術大学、東京都立保健科学大学、東京都立短期大学を統合して開学した大学です。大学名称の変更により名称自体は、統合した4つの大学のうちのひとつである東京都立大学と同じになりますが、かつての東京都立大学へ回帰するという意図はありません。また、これまでの首都大学東京としての歩みを否定するものでもありません。着実に発展してきた本学が、これまでの実績のもと、新たな「東京都立大学」として飛躍していくものです。

首都大学東京は、約27,000名の卒業生、修了生を輩出し、現在も約9,000名の学部生、院生を擁しています。本学は、この間全ての大学構成員が心を合わせ、教育、研究、社会貢献として国際化など、様々な領域において改革的な努力を重ね、着実に発展を遂げてきました。その結果、幅広い学問分野を持つ総合大学として、それぞれの学問分野における研究と、質の高い教育の好循環が、本学の優れた特質として高く評価されています。

技術革新と産業構造の変化、グローバル化によって、社会構造が大きく変化する中、高等教育機関に求められる役割は益々大きなものになりつつあります。このようなタイミングで、東京都が設置したことが明確になる「東京都立大学」への名称変更は、本学が更なる発展を遂げる機会ともなり得ると前向きに捉えております。大学の本分である教育・研究力に一層の磨きをかけることはもとより、その成果をこれまで以上に、東京都のシンクタンクとして東京都へ還元するなど、世界有数の大都市である東京都が設置する唯一の総合大学として、更なるプレゼンスの向上に取り組んでまいります。

大学の沿革



名称変更後の大学シンボルマークについて

名称変更後の本学（東京都立大学）のシンボルマークは、以下のとおりといたします。
〈2020年4月からの大学シンボルマーク〉



現在のコミュニケーションマークが次期シンボルマークとなります。

なお、次期シンボルマークの使用に係る取扱いは、現在のコミュニケーションマークと同様の取扱いとする予定です。

TMUプレミアム・カレッジ開講

生涯現役都市の実現へ向けた取組として、「生涯学べる100歳大学」、TMUプレミアム・カレッジを2019年4月、南大沢キャンパスに開講しました。

第一期生として、53名の方が入学し、カレッジや首都大学東京の教授等による幅広い分野の科目を受講したり、ゼミナールなどを通じてカレッジの仲間と交流したりといった、カレッジのコンセプトである「学び」と「交流」を満喫しています。

図書館や情報処理施設（パソコンルーム）などの学内施設も非常に活用されており、カレッジ生からは、「学ぶことが楽しくて仕方がない」といった声も多数寄せられています。



プレミアム・カレッジのゼミを小池都知事が視察、受講生と意見交換される様子(7月8日)

東京の持つあらゆる資源を活用した

フィールドワーク

カレッジでは、教室での学びだけではなく、実際の「現場」で「五感で実感」することも大切に行っています。

東京都が設置した唯一の公立大学法人であるという点を活かし、東京都庁各局との緊密な連携等に基づき、都庁が有する多様な施策の最前線を学びの場に活用したり、授業担当教員の専門性に基づき、多摩の水源地や伊豆大島を実際に訪れ学ぶフィールドワークも実施しています。



フィールドワークで上野学長がカレッジ生に対して多摩ニュータウンの説明をされる様子

また、上野学長にご担当いただいている「多摩ニュータウン物語」という科目では、学長自ら多摩ニュータウンの建築群やコミュニティなどをご案内いただきました。

特別講演会・模擬授業を開催

カレッジの魅力を幅広い方々へ知

っていたため、10～11月にかけて、特別講演会及び模擬授業を開催し、延べ900人を超える方々に参加いただきました。



模擬授業の様子(2019年11月16日「世界遺産・法隆寺のみかた、楽しみ方」山田幸正特任教授)

○特別講演会(2019年10月19日)
「親子関係はどう変わったか?」心理臨床の支援者の立場から見た時代的変遷」
首都大学東京人文社会学部 教授 永井 徹

○模擬授業①(2019年10月26日)
「多摩ニュータウン物語」
首都大学東京学長 上野 淳

「ボランティアとNPO」
首都大学東京特任教授 林大介

○模擬授業②(2019年11月16日)
「人類はなぜ直立二足歩行を獲得し

アフリカを出たのか?」工学的視点から観ると」

首都大学東京特任教授 太田正廣

「世界遺産・法隆寺のみかた、楽しみ方」
首都大学東京特任教授 山田幸正

2020年4月に専攻科を開講予定

カレッジの本科(1年目)の修了者を対象に、2年目も引き続き学び続けられる制度として、令和2年(2020年)4月より、「専攻科」を設置します。

□対 象: 本科修了予定者(定員30名程度)

□在学期間: 1年間(週3～4日程度の通学)

□受講料: 20万円

□カリキュラム(専攻科の特長)

・専攻科専用のゼミナールを開講し、専攻生の多様なニーズに応じたさらなるブラッシュアップを支援

・カレッジの幅広い分野の中から、本科において未受講の科目を中心に興味のある科目を選択して受講

・その他、専攻生の経験や意欲を活かしたプログラム

生涯学べる100歳大学

東京都立大学 プレミアム・カレッジ

Premium College
Tokyo Metropolitan University

大学の名称変更に伴い、2020年4月より「東京都立大学」へ変更し、カレッジの名称を「東京都立大学プレミアム・カレッジ」に変更いたします。

【TMUプレミアム・カレッジ専用HP】
<https://www.jp.c.tmu.ac.jp/>

2017年度卒業生・修了生の主な就職先

(1)-1 一般企業等

『大学案内2020』より抜粋

建設業	旭化成ホームズ/安藤・間/一条工務店/大林組/鹿島建設/清水建設/大成建設/大東建託/大和ハウス工業/東京セキスイハイム/戸田建設/飛鳥建設/日本国土開発/日本ヒューム/一建設/長谷工コーポレーション/ミサワホーム/三井金属エンジニアリング/三井ホーム/LIXIL/ワールドコーポレーション	
製 業	食料品・飲料など	アベックス/柿安本店/カゴメ/キュービー醸造/極洋/日本製粉/日本甜菜製糖/不二製油/明星食品/明治/山崎製パン/雪印メグミルク
	繊維業	旭化成
	印刷業	イムラ封筒/山陽印刷/凸版印刷/日本製紙クレシア
	化学工業など	アイカ工業/ADEKA/カネカ/キッセイ薬品工業/コーセー/国際石油開発帝石/ジョンソン・エンド・ジョンソン/住友化学/ダイニク/テクセリアルズ/東洋インキSCホールディングス/日本ロレアル/富士石油/三菱ガス化学/ユニチカ/ライオン
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	沖電線/JX金属/日軽パネルシステム/日新製鋼建材/古河電工パワーシステムズ/三菱マテリアル/UACJ/YKK AP
	汎用・生産用・業務用機械器具製造業	IHI/SMC/KELK/JUKI/ダイキン工業/デンソートリム/東京エレクトロン/東芝機械/ナブテスコ/パナソニック産機システムズ/不二越/富士通ゼネラル
	電子部品・デバイス・電子回路製造業	アルプス電気/岡谷電機産業/スタンレー電気/ソーラーフロンティア/東芝メモリ/東芝メモリシステムズ/日本電産/ルネサス エレクトロニクス
	電気・情報通信機械器具製造業	沖電気工業/オリンパス/キヤノン/コニカミノルタ/ジーエス・ユアサコーポレーション/シャープ/ソニー/ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ/東芝/日本アイ・ピー・エム(日本IBM)/日本航空電子工業/富士電機/明電舎/リコー
	輸送用機械器具製造業	スズキ/SUBARU/デンソー/トヨタ自動車/豊田自動織機/トヨタ車体/日産テクノ/日本シューター/日野自動車/本田技研工業/三井造船/ヤマハ発動機
	その他製造業	イトーキ/コクヨ/太平洋セメント/タカラスタンダード/タミヤ/日本製紙/能美防災/ライオン事務器/リヒトラブ
電気・ガス・熱供給・水道業	中国電力/電源開発/東京電力ホールディングス	
情報通信業	アクセンチュア/アビームコンサルティング/IMAGICA/インテック/インフォテック朝日/SCSK/NTTコムウェア/NTTデータ・アイ/NTTデータMSE/NTTデータ フロンティア/NTTテクノクロス/オービック/KADOKAWA/クリーク・アンド・リバー社/サイバーエージェント/さくら情報システム/JTBパブリッシング/時事通信社/信濃毎日新聞社/ジュピターテレコム/昭文社/新日鉄住金ソリューションズ/スカパーJ SAT/スミセイ情報システム/全労済システムズ/損保ジャパン日本興亜システムズ/大和総研グループ/TIS/DTS/電通国際情報サービス/東京データ/トッパン・フォームズ/オペレーション/ドワンゴ/ニッセイ情報テクノロジー/日本電気航空宇宙システム/日本放送協会(NHK)/日本アイ・ピー・エム・サービス (ISC-J)/日本経済広告社/日本システム開発/日本総合研究所/日本電子計算/日本能率協会コンサルティング/日本ユニシス/農中情報システム/東日本電信電話(NTT東日本)/ピクシブ/日立ソリューションズ/日立ソリューションズ・クリエイティブ/富士ソフト/船井総合研究所/ベネッセインフォシエル/ポルテージ/みずほ情報総研/三菱総研DCS/三菱UFJインフォメーションテクノロジー/明治図書出版/ヤフー/USEN/LINE/ワークスアプリケーションズ	
運輸業・郵便業	京王電鉄/四国旅客鉄道(JR四国)/JALグランドサービス/JALスカイ/首都高速道路/スカイマーク/スターフライヤー/全日本空輸(ANA)/ソラシドエア/中日本高速道路/西日本高速道路/日新/日本郵船/日本郵便/日本航空(JAL)/日本交通/東日本高速道路/富士急行/郵船ロジスティクス	

(1)-2 一般企業等

卸売・小売業	いすゞ自動車販売/内田洋行/大塚商会/岡谷鋼機/オリバー/花王カスタマーマーケティング/京王百貨店/三喜商事/サンゲツ/島村楽器/双日プラネット/タキヒヨー/東京エレクトロン デバイス/トーハン/豊田通商/トレンドゲート/ホンダトレーディング/丸井グループ/三菱商事/守谷商会/ユアサ商事/良品計画
金融・保険業	朝日生命保険/アフラック/イオン保険サービス/SMBC日興証券/MS&AD事務サービス/オリエントコーポレーション/オリックス銀行/群馬銀行/京葉銀行/ジェーシービー/資産管理サービス信託銀行/商工組合中央金庫(商工中金)/信金中央金庫/住友生命保険/スルガ銀行/諏訪信用金庫/セゾン自動車火災保険/セディナ/全国共済農業協同組合連合会(JA共済)/全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)/損害保険ジャパン日本興亜/第一生命保険/大同生命保険/大和証券グループ/大和証券投資信託委託/千葉銀行/東海東京フィナンシャル・ホールディングス/東京海上日動火災保険/東京きらぼしフィナンシャルグループ/日本銀行/日本政策金融公庫/日本年金機構/日本生命保険/農林中央金庫/野村證券/ブルデンシャル生命保険/みずほフィナンシャルグループ/三井住友銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/明治安田生命保険/ヤマトクレジットファイナンス/ゆうちょ銀行/横浜銀行
不動産業・物品賃貸業	アサヒ ファシリティズ/NTTファイナンス/MDI/オープンハウス/オリックス/グッドコムアセット/京王不動産/ザイマックスアルファ/三協フロンティア/首都圏リース/大京グループ/大誠都市開発/大和情報サービス/タカラレーベン/東京建物/東京都住宅供給公社/長崎ターミナルビル/日本ケアサブライ/長谷エライブネット/日立アーバンインベストメント/三井住友ファイナンス&リース/三井不動産リアルティ/三菱地所ハウスネット/三菱UFJリース/大和ライフネクスト/ユニゾホールディングス/ライフポート西洋/ルミネ
専門サービス業	インテジテクノスフィア/応用地質/オフィス気象キャスター/オリエンタルコンサルタンツ/オリコム/学生情報センター/サイバーコミュニケーションズ/JR中央ラインモール/ジェイアール東日本企画/ジャパン・リニューアブル・エナジー/情報通信研究機構/セプターニホールディングス/大広/高橋綜合法律事務所/鉄道建設・運輸施設整備支援機構/デロイト トーマツ コンサルティング/電通デジタル/東急エージェンシー/東急設計コンサルタント/監査法人 トーマツ/日本技術貿易/日本原子力研究開発機構/日本国際協力センター/パシフィックコンサルタンツ/PwCあらた有限責任監査法人/東日本総合計画/富士通ラーニングメディア/三菱電機ビジネスシステム/八千代エンジニアリング/リクルートマーケティングパートナーズ
生活関連サービス業・娯楽業・宿泊業	ゼンショーホールディングス/阪神阪急ホテルズ/ミリアルリゾートホテルズ/リゾートトラスト
サービス業	エイチ・アイ・エス/近畿日本ツーリスト/クラブツーリズム/東武トップツアーズ/ネクセリア東日本/ユー・エス・ジェイ
教育	栄光(栄光ゼミナール)/学習院/河合塾/国際医療福祉大学/首都大学東京/湘南ゼミナール/東京海洋大学/東北医科薬科大学/トライグループ/ヒューマンアカデミー/教員(神奈川県、川崎市、相模原市、横浜市、私立学校)
その他サービス業	エス・エム・エスカリア/エン・ジャパン/クイック/ジェイエイシーリクルートメント(JAC)/JTBコーポレートセールス/セコム/総合警備保障/ダイヤモンド・ヒューマンリソース/パーソルキャリア/パーソルテンプスタッフ/パーソルプロセス&テクノロジー/パソナ/リクルートキャリア/ワールドインテック

(2)公務員

東京都庁	27	東京国税局	3
東京都特別区	22	警視庁	2
横浜市役所	14	厚生労働省	2
相模原市役所	5	財務省(東京税関)	2
財務省(関東財務局)	4	財務省(横浜税関)	2
神奈川県庁	4	上記以外の国家機関	23
八王子市役所	4	上記以外の地方自治体	30
静岡県庁	3	合計	150名

(3)病院等

東京都立病院	20
東京大学医学部附属病院	9
国家公務員共済組合連合会	7
東京都リハビリテーション病院	5
国立国際医療研究センター病院	5
上記以外の病院・施設等	111
合計	157名

支部だより

九州支部

九州支部は令和元年10月6日(日)に福岡市中央区天神の平和楼にて総会を開催しました。

当日は同窓会本部の黒川信副会長と、大学学長特任補佐の吉武博通理事をお迎えし、九州支部会員18名の参加をいただきました。

総会では黒川副会長と吉武理事から、来年度より東京都立大学へ名称変更となることの報告をいただきました。また本年度より同窓会九州支部の会則を作成したこと、ゴルフ同好会が発足したことを報告しました。

つづいて歓談にうつると、皆さん思い思いに名刺交換をしながら世代や業種を超えて交流を深めて、とても有意義な会になったと感じることができました。

とくに福引大会では、景品が、「首都大学東京のノベルティ」(いずれ希少価値が出る!)ということもあり、大いに盛り上がりました。

九州支部総会が福岡だけの開催では、遠方の会員の参加がなかなか難しいのが実情です。今後は各地区にサテライトの拠点を作り、ミニ同窓会の開催ができるように進めていきたいと思っています。

九州支部連絡先
小川 省三

(九州支部副会長/都26期理物理)

ogawa825@c-iv.com



関西支部

令和元年5月11日(土)に「第26回関西支部の集い」を開催しました。参加28名のほか、同窓会本部から黒石輯会長、大学から清水敏久副学長(都26期・大学院・工・博士課程)を来賓としてお迎えしました。

今回の集いは、例年とは趣向を変え、大阪市内中心部を流れる大川の「KPGリバークルーズ」の船を会場に、中之島から都島区の毛馬水門までのクルーズで、水都大阪の景観を楽しむことができました。

集いは塩見郁子さん(都47期・法・政治)の司会進行で進められました。松見支部会長の挨拶につづき、黒石同窓会会長から、ご挨拶に合わせ同窓会本部の情報をお話しいただ

きました。

その後も乾杯に続き、ひとときの宴と歓談をはさんで、支部総会を行いました。総会議題は収支決算報告で、根津嗣郎支部事務局長から報告し、全会一致で承認されました。その後、支部副会長の芦沢清隆(同窓会本部理事)から同窓会本部の活動報告がありました。さらに清水副学長から、「首都大学東京の今」と題したミニ講演をしていただき、大学の現状をよく知ることができました。

また初参加の方を中心としたスピーチでは、それぞれの趣味や仕事の話で、その方の人となりを知ることができ、今後につながるものになったと思います。

参加者が少なかったのは残念ですが、かえってゆっくり会話する時間を持って、互いの親睦が深まるよい機会になったのではないのでしょうか。

関西支部の同窓会会員名簿の記載人数は932名となり、規模の大きな同窓会支部になります。しかし集いの参加者は年々減少しており、若返りを図ってゆくことがなかなか難しいのが実情です。

集いには、できるだけ多くの同窓生にお越しいただけるよう、いろいろ工夫してきたつもりですが、さらに支部活動を維持発展させていかなければならないと考えています。幹事一同、世代を超えた卒業生の「つ

ながり」を深めたいと思っていますのでご気軽にお越しください。

令和2年の「関西支部の集い」は5月23日(土)に日本綿業会館にて、企画を凝らして開催いたしますので、是非参加をお願いします。

関西支部連絡先

根津 嗣郎(支部事務局長)

nezu0202@sage.ocn.ne.jp

関西支部 幹事・役員一覧

会 長	松見豊和	都12	経済
副会長	芦沢清隆	都17	建築
副会長	船川和夫	都18	化学
事務局長	根津嗣郎	都32	建築
幹 事	大内恵子	都14	英文
幹 事	山井愛樹	都37	地理
幹 事	川瀬悌弘	都44	数学
幹 事	塩見吉伸	都44	土木
幹 事	比嘉英樹	都48	生物



□ 中部支部

中部支部は令和元年6月2日(日)に総会を開催しました。支部設立後10回目の節目にあたり、太平洋フェリーを利用した洋上での思い出に残る総会を企画しました。

来賓には上野淳学長、黒石輯同窓会会長をお迎えすることが叶いました。さらに同窓生の伴侶3名、校友会員2名(大阪府立大学名古屋校友会会長ならびに幹事長)を加え、総勢26名の参加者になりました。

総会では支部活動報告、決算報告、役員人事などすませた後、上野学長から大学名変更に関する話題、黒石会長からは同窓会の現状と将来についてのお話がありました。母校をめぐる現況を直接伺うことができ、たいへん有意義なお話でした。

総会は太平洋フェリー(株)のご好意で貸していただいた船室で行いましたが、その後、懇親会までの間は、船上デッキから名古屋港、トリトン(名古屋港をまたぐ高速道路橋)、知多半島の工場群、中部国際空港(セントレア)など、普段は見ることができない海上からの景観を楽しみました。

懇親会は船内レストランで開催されました。南太平洋タヒチをテーマにデザインされた室内の窓から、180度の視界が広がる海を眺めつつ、ビール、ワインで乾杯。そしてランチ



バイキングを味わい、初参加の会員と毎回の参加者が和気藹々に交友を深めることが出来ました。

当日はあいにくの小雨模様でしたが、全長200メートルの大型客船で揺れることもなく、めったに経験出来ない洋上の4時間に総会を組み入れた、素晴らしいひとときになりました。

新たに就任した大西純一支部長(都22期・工学・機械)の活動予定発表では、総会は2年に1度、その間の年にも何らかのイベントを行い、府立大学名古屋校友会との交流も続けていくとのことでした。

中部支部はこのように活発に活動しています。今まで未参加の方も、次回の行事にはぜひ参加して下さいよう幹事一同、心よりお待ちしております。

報告…岩間 淳三
(都32期・院・独文)
文責…大西 純一

中部支部連絡先
silvermine103@qc.commf.jp
宮本 公隆

(支部幹事長/都23期・工・工化)

□ 埼玉八雲会

埼玉八雲会は埼玉県在住の同窓生の研修と異業種交流、懇親の場として26年前に設立され、以来毎年春秋の2回会合を重ねてきました。

第48回の研修会は平成30年12月14日、さいたま市の埼玉会館で行いました。当日は埼玉県環境部温暖化対策課総務・エコライフ推進担当の鈴木一真主幹を講師にお迎えして、県政出前講座のうち「埼玉県の地球温暖化対策」というテーマでお話いただきました。

お話の主旨は、二酸化炭素はある程度は必要だが、多すぎると困る。そして自然エネルギーの活用、待機電力、家庭電化製品の向上による節電の効果の拡大が、今後の大きな課題だということでした。

次に第49回の研修会は、令和元年6月14日に埼玉会館で行いました。当日は太田隆司さん(都18期・院・機械工)から「日立・サムスン・鴻海精密工業におけるグローバルなビ

ジネスの創造」というテーマでお話いただきました。

この講演で私、佐伯公(都14・法経・経済)が一番感銘をうけたのは、上に立つ人の決断の重さです。上に立つ人はより多くの情報収集と現状の推移に関する知見、的確な判断が求められます。ジャパンディスプレイの混迷は、まさに経営陣にそれらが欠けた典型であることがわかりました。

ところで、上記のように埼玉八雲会は年2回開催していますが、開設以来20年以上を経て、最近では集まる人の数が減少傾向にあります。そこで同窓生で最近お住まいか勤務先が埼玉県に変わられた方々に、メールによって大々的にPR活動したいと考えています。



埼玉八雲会の研修会に興味がある方は、文末のアドレスにご連絡ください。また以前から埼玉に居住もしくは勤務の同窓生でも、埼玉八雲会に興味のある方は、支部事務局にお問い合わせください。

埼玉八雲会連絡先

tsuki@orangeplala.or.jp

佐伯 公(支部事務局)

□ 八雲会東北支部

東北支部定期懇親会を令和元年7月27日(土)に仙台で開催しました。神山洋支部長(都5期・工・土木)、本部同窓会の松浦知彦事務局長以下、11名の参加で開催されました。

神山会長挨拶および乾杯と松浦事務局長のご挨拶から始まり、互いの交流を深めることができました。

途中「第1回近況報告スピーチコンテスト」が行われ、参加者全員が順次持ち時間3分間で近況報告スピーチをしました。

神山支部長賞に輝いたのは福島県で弁護士をしている久保田美和さん(法・法律・49期)。また、松浦事務局長賞は、光栄にも、幹事の私、薄井淳が頂戴しました。選考委員を勤めいただいた神山会長と松浦事務局長、また、スピーチをして下さった皆様、ありがとうございます。

歓談中には、都立大学への名称変更をめぐって、出身大学に関する各世代のアイデンティティーについて、熱い議論が交わされました。

次回以降の東北支部の名称を「八雲・柿の木坂・深沢・南大沢」首都大学東京の名前も忘れない「東北支部」と改称してはどうかとの案も出るなど、ユーモアも交えつつ、充実した意見交換になりました。

参加の皆様、誠にありがとうございました。次回以降はさらに多くの同窓生に参加いただけるよう盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

八雲会東北支部連絡先
tsuki@1525.jp
薄井 淳
(支部幹事/都49期・法・法律)



八雲クラブで会いましょう

丑山佐千男(都22期・法・政治)

渋谷駅下車、世界に名高いスクランブル交差点を渡って徒歩数分、東急ハングルの隣、渋谷ニューコーポラスに「八雲クラブ」はあります。運営は同窓会の八雲クラブ委員会が担当。現在約300名の「会員」が利用しています。

毎月第二水曜日には、「八雲サロン」が開催され、昨年10月には400回目を迎えました。サロンの予告は会員にはニュースレターで毎月知らされます。参加の予約不要、会員外も自由にできます(会費2000円)。

毎月のサロンに加えて、年に4回ほど第四水曜日に「八雲カフェバー」も開催。出入り自由で、会員は会費無料でアルコール片手に、会員同士が顔見知りになり親睦を深め情報交換などの寛ぎのひと時を過ごします。夏は、カレーパーティ、キューバの夕べ、秋は日本銘酒の会なども開かれます。(会員外参加費500円)。

令和元年に開催された八雲サロンとゲストは、1月は新年会、カクテルパーティと北原隆氏の写真展。2月以降は、「人生100年時代を豊かに生きるための四つの法則」(河野順子氏・34心理)、『夜のスナックから見た日本』(谷口功一氏・首都大教授)、『マグカル』って何? (薄井英男氏・29・法律)、『中国鉄道事情』(北原冬

雪氏(40・心理)、『東急不動産の挑戦』(40・心理)、『東急不動産のブランド再構築』(椎名史明氏(39・地理)、『東急不動産の挑戦』(飯星明氏(48・ちづくりについて)、『俳句の愉しみ・シニアからの俳句入門』(丑山佐千男氏(22・政治)、『人生100年時代の入口に立つ・日本で最高齢の男性現役保育士、待機児童問題に挑戦』(高田勇紀夫氏(22・経済)、400回記念サロン『同窓会・八雲サロンの歩みと軌跡』(小野崎敏氏(5・工化)、『日本のロケット開発と宇宙運送経済』(北川幸樹氏(科技大12期)、『シェアリングエコノミー最前線』(古澤周作氏(首都大15年卒・機械)。

八雲クラブの詳しい紹介と入会方法、八雲サロン予告などは同窓会ホームページに載っています。ぜひ一度八雲クラブにお出かけください。みなさまとの新しい出会いを願っております。

八雲サロン風景・400回記念サロンゲスト・小野崎敏氏

八雲サロン風景・400回記念サロンゲスト・小野崎敏氏



八雲サロン風景・400回記念サロン
ゲスト・小野崎敏氏

2019年 同窓会寄付講義

毎年、「産業と企業」のテーマのもとに開講されている同窓会寄付講義は、今年度（19年度後期）は、約200名以上の学生が登録しました。

講義全体を通じて学生には、「様々な分野の先輩から話が聞け、幅広い教養としての知識が得られた」といった高い評価だったようです。また、担当教官の先生、講師の方々のご尽力により、学生から「大変面白く興味を持てた」「知識がなくてもわかりやすい」といった評価も多かったと聞いています。

今年度も、昨年度と同様に、学生には1千字程度のレポートの提出が課せられています。

受講生には、この講義の特色を生かして将来の勉学に役立てていただくことを期待したいと思います。

実施に当たっては、八雲同友会とNPO法人MeC及び同窓会の松本副会長の協力により、OBの方の中から会社経営に豊富な経験を持ち、産業の発展に貢献した方、あるいは、ご自分が事業に関わってこられた方など、以下の方々に講師を委託しました。

今年も講師陣には現役の方が多く、現在行っておられる仕事についてお話が伺えると思いますので、学生にとって一層親しみやすいものになると思えます。

同窓生の皆さまも、ご遠慮なく講義を聴きにおいでください。

第1部

19年10月10日(木)

倉元 政道 (重電機業)

(都立大28期・理学部・化学科卒)
 (株)明電舎 取締役副社長

「生活を支える電力のしくみと皆の暮らし」

19年10月17日(木)

吉田 研二 (化学工業)

(都立大28期・工学部・機械工学科卒)
 (株)NTTファシリティーズ 営業本部 事業開発部門長 前日立化成(株)エネルギー事業本部 産業電池システム 事業部長

「二次電池の歴史・需要と成長」

19年10月24日(木)

角家 強志 (ソフトウェア業)

(都立大31期・工学部・建築学科卒)
 プロメテック・ソフトウェア(株) 代表取締役社長 前(株)構造計画研究所 常務執行役

「シミュレーションソフトウェアの現状と課題」

19年10月31日(木)

馳川 元良 (金融サービス業)

(都立大32期・法学部・法律学科卒)
 三井住友ファイナンス&リース(株) F&S 推進部長

「金融業界におけるソリューションビジネスの展開と求められるスキル」

19年11月7日(木)

北爪 進

(都立大8期・工学部電気工学科卒・工学博士)

元日本電気(株)理事(株)ELPICO 最高顧問

「日本の通信と放送衛星の誕生秘話」

19年11月14日(木)

中川 雅夫 (製造業)

(都立大25期・工学部・機械工学科卒)
 (株)ブリヂストン 経営監査室 前普利司通(中国) 研究開発有限公司 董事長

「石橋正二郎とブリヂストン」
 ビジネス(生産・販売・技術)におけるDNA」

第2部

19年11月21日(木)

松本 公一 (特許事務所/弁理士)

(科技大5期・工学部機械システム 工学科卒)

特許業務法人あいわ特許業務法人

「国の政策を支える仕事と特許庁審査官の業務とは」

19年11月28日(木)

石館 陸男

(都立大12期・工学部機械工学科卒)
 元トーメン(株)代表取締役専務取締役
 「世界を股にかけて」

19年12月5日(木)

前田 東一

(都立大27期・大学院機械工学専攻修了)
 (株)荏原製作所 取締役会長

「大企業の社長の生き様から学生に与える言葉」

19年12月12日(木)

田野 道保

(都立大27期・大学院物理学専攻修了)
 (株)データ・テック 代表取締役

「世界初のドライブレコーダー」
 アイデアから事業化への軌跡」

19年12月19日(木)

市来 広一郎

(都立大49期・大学院物理学専攻修了)
 (株) nuchinori 代表取締役 NPO 法人 atanisia 代表理事

「地方の小さな街の再生と地元をなんとかしたいから始まった熱海での取り組み」

20年1月9日(木)

畑 純一

(都立保健科学大6期・大学院人間健康科学研究科・工学博士)

国立研究開発法人理化学研究所 脳科学総合研究センター マーモセット 神経構造研究チーム
 「脳を理解しよう」最新の脳画像科学研究で社会をみる」

■ 同窓会事務局からのお知らせとお願い ■

□お知らせ□ □メルマガ配信開始□

メールマガジンのメールアドレス登録している方へ配信しています。毎月一回20日の発信です。どうかご覧ください。もともとっと充実した内容にしたいと考えます。ぜひ記事になる情報をお寄せください。アドレス登録を希望される方は事務局までご連絡ください。

□お願い□ □情報提供のお願い□

情報発信の重要性は言うまでもありません。同窓会関係でも、最近HP、会報、メールマガジンの記事を見てという問い合わせが増えております。同窓会としても、現在、同窓会に関係する情報を会員あるいは外部に積極的に発信することの重要性を感じており、さらに力を入れたと考えております。

ただ、現状は、不十分と言わざるを得ません。

なかでも、発信する情報の収集に苦慮しています。限られた現在の体制、人員ではこれ以上の充実はなかなか困難な状況です。これを改善する大きな手段は会員の皆様からの情報提供です。

ぜひ、積極的な情報提供をいただき、ホームページ等の充実に努めたいと考えています。その結果、同窓会に対する注目度が高まり、それが

さらに同窓会活動の活発化につながるものと考えております。ご協力をお願いいたします。

□会費の払い込みと住所・勤務先等の変更届のお願い□

維持会費は、同窓会活動にとつて極めて重要な財源です。

様々な活動の下になる同窓会データベースの管理、現役学生への支援、会報の発行、様々な行事の実施等の資金源となります。

本来、同窓会の経常的運営に必要な経費は、維持会費によって賄われるものといえます。

残念ながら、実際はそれとはかけ離れた実態にあります。15期（平成30年8月～令和元年7月）で見ますと、一般会計の支出総額約3405万円に対し、維持会費収入は、約606万円で、約18%にしかありません。財源の多くを入会金に頼っているのが、実情です。

同窓会の安定的運営のために、維持会費の納入のご協力をぜひお願いいたします。

維持会費は、年額3千円です。なお、終身会費制度もあり、3万円納めていただきますと、以後年会費は納入不要になります。

会費につきましては、本会報に同封いたしました、「払込取扱票」（赤色で印刷された用紙）により納入をお願いいたします。払い込みは「郵便局」または「コンビニ」でお願い

いたします。なお、利用可能なコンビニは、払込取扱票の裏面に記載されています。

「住所等変更届」は、変更があった都度、変更項目を明示のうえ、同封の「住所等変更届」の該当欄各項目を記載し、ファックスまたは郵便でのご一報ください。お手元に「変更届」がない場合は、メールあるいは電話でご連絡いただいてもかまいません。

住所につきましては、一度途切れてしまいますと、それ以後会報等のお届けなど同窓会からご連絡する手段がなくなり、同窓会と絶縁状態になります。ご面倒ですが、ぜひご連絡をお願いいたします。

連絡先

東京都立大学同窓会事務局
〒192-0364 八王子市南大沢
1-1 東京都立大学内
電話：042-670-1770
FAX：042-677-2894
Email: tnu-al@tnu.ac.jp
担当：石澤・袴田

(参考)

東京都立大学同窓会規約抄

(会員の責務)

第6条 会員は、本会の事業に積極的に参加し、会費等の納入を果たし、住所・氏名及び勤務先の変更があったときは、速やかに変更事項を本会事務所に届け出るものとする。
(入会金)

第7条 本会の入会金は、2万円とし、大学の学部又は大学院に入学したときに納付するものとする。
(会費)

第8条 本会の会費年額は、次のとおりとする。

1. 正会員 3千円 ただし、3万円を一括納付することにより以後年会費を納付することなく、終身会員とすることが出来る。
2. 特別会員 正会員に準ずる。
3. 賛助会員 一口5万円
4. 名誉会員 納付を要しない。

(入会金・会費の不返還)
第9条 既納入会金、会費及びその他の拠出金は、これを返還しないものとする。

□海外在住の方へ□

・同窓会報の送付について
残念ながら現在は財政上の理由により、海外への会報の送付はいたしておりません。

海外在住の方は、恐縮ですが、同窓会のHPに会報をアップしておりますのでそちらからご覧いただきたいと存じます。なお、ご希望の方には、留守宅等国内の住所にお送りいたします。

・海外同窓会のご連絡のお願い
東京都立大学同窓会の会員は、広く世界の各都市に在住していらっしゃいます。

とくに、主要都市においてはかなりの同窓生が在住されているとお聞

さします。そのような都市において

は、同窓会会員同士の集まりがもたれて

いるのではないかと思われま

す。つきましては、各地の同窓会の情報

を同窓会事務局あてお知らせいた

ければ大変ありがたく存じます。今

後、会報やHPに積極的に取り上

げていきたいと考えております。「シ

ンガポール都立大・首都大学同窓会

の会合の様子が、HPや会報に登

載されるとともに、規約に定める各

種同窓会に登録されました。それ

をきっかけに、現地政府関係機関の幹

部とシンガポール同窓会との間に交

流が生まれています。このように情

報をいただき、それを発信すること

によってさらに新たなつながりがで

きるといった循環が生まれることを

期待しております。

【会員の皆様へ】

「会費納入状況欄」のご説明

会報と一緒に送っている「年

会費納入状況」欄についてご説明し

ます。

同封の赤色印刷の「会員の皆様へ」

をご覧ください。

(1) 維持会費の払い込みは、郵便

局だけでなくコンビニでもできます。

(2) 同窓会の年会費の納入状況

は、年度(4月～3月)により管理

しております。

会報は年1回(3月末)発行して

おり、その際、「会員の皆様へ」と

払込票を同封いたしておりますの

で、これをご利用ください。

(3) 納入状況については、お支

払いいただいている方には、「納入

状況」欄に年度ごとに「納入済」

(終身会費を納入された方は「納入

不要」を印字しております。な

お、納入状況は、2月28日現在で

記載させていただいております。

【寄付のお願い】

(4) 次期以降2期以上の維持会費

をお払いいただいた方については、

当同窓会の会員管理台帳上では、「預

り金」として、従来と同様管理いた

します。

(5) 同一年度内に重複(2回)し

て、払い込みをされた方については、

当年度を含めて4年以内に未納の年

度がある場合には、その年度分に充

当させていただいております。また、

未納がない場合には、「預り金」と

して、管理して、次年度になった時

に、当年度分として入金処理をさせ

ていただきます。

(6) 個人情報保護の観点から、

払込票には、住所を記載せず、***

***で表示しております。

平成23年から始まった新しい寄付

制度は、制度創設から8年経過し、

これまで、延べ3000名を超える

皆様から、3000万円を超えるご

寄付をいただき、同窓会の財政安定

に大きな力になってきました。あり

【2019年秋の叙勲受章者】

瑞宝中綬章(人事行政功勞)

井上満男氏(都立大学理学部化学科

13期院・理・化学)

旭日中綬章(在外邦人)

お二人のご受賞を心よりお祝い申

上げ、ここに同窓会会員の皆様にご

報告いたします。

【褒賞などを受賞された会員を

ご存知の方は、ご連絡ください】

毎年かなりの会員が、褒賞など受

賞されます。会報の紙面でお祝いを

申し上げたいと考えますが、同窓会

では、なかなか把握できません。

そのような情報をご存知の方は是非

ご一報お願いします。

【募金のお願い】

2020年4月の大学名称変更を

記念して、現在募金をお願いしてお

ります(2021年3月まで)。い

ただいた募金は、主に在学生への奨

学金に充てられることになっており

ます。ぜひご協力をお願いします。

(詳しくは31ページ)

【事務局人事のお知らせ】

2020年2月1日をもって、

松浦知彦氏が事務局長を退任され、

石澤清明氏が事務局長に就任され

ましたのでお知らせします。

**2020年（令和2年）
第16期 同窓会 活動方針**
2020年1月15日

重点活動方針

同窓会は、大学、学生、卒業生の三者をつなぎ、その三者の有機的结合を実現する役割を担っていると考へ、以下の通り、重点活動方針を掲げます。

1. 本年度特有事項（校名変更）

校名変更を契機に、大学との連携を深め、卒業生の同窓会活動への参加を促し、学生の同窓会への認識・理解を高め、同窓会の更なる一体化と活性化を図る。

○卒業生に対するホームカミングデーへの参加の呼びかけ

○卒業生の意識調査アンケートの実施

2. 大学との関係

大学との連携並びに協力関係を強化する。

○卒業生の大学への認識、理解を深めるための施策（情報発信、イベント案内等）及びその周知施策

○同窓会と大学との連携・協力的制強化のための仕組みづくり

3. 学生との関係

新入生及び在校生への同窓会の存在と活動状況の周知と同窓会の積極的活用を促す。

○学生への同窓会に関する情報発信

○大学等が所有する卒業生等の個人情報データ利用への働きかけ

○学生支援のメニュー拡大、内容充実及び学生への周知

4. 学生と卒業生との交流拡大

4. 卒業生との関係

同窓会へのメールアドレスの登録や同窓会への入会呼びかけ等を通じて、同窓会の基盤拡大を図る。

○卒業生への同窓会、大学、学生支援等に関する情報発信

○ホームカミングデーへの参加呼びかけ、動員施策

○既存のOBORG会の同窓会行事への参加勧誘

○各種職能・業界・職域におけるOBORG会結成支援

○学生支援の一環としての奨学金制度の訴求と協力要請

重点活動方針を踏まえ、各委員会は以下の方針で活動を行う。

総務委員会

1. 大学との連携を強化するため、大学の施策・課題に対し積極的に対応する

2. 学生の支援策として、寄付講義の充実、各種表彰の充実を図る

3. 評議員会のキャンパス開催を実施する

・2020年日野キャンパス
・2021年南大沢キャンパス

4. 理事会・評議員会等の運営に際し、ペーパーレス化を進める

5. その他、他委員会に属さないこと

企画委員会

1. 大学との連携を強化していくために、同窓会の窓口としての役割をより積極的に果たす

・大学の情報収集、意見交換を積極的にに行い、その情報を同窓会

にフィードバックする

2. 学生支援の充実という視点から、「賞」の見直し及び充実を図るとともに、新たな支援策を検討する

広報委員会

積極的な情報発信と大学との連携強化

1. 会報編集発行

2. ホームページでの情報発信（掲載編集）

3. メールマガジン編集発行

4. 同窓会へのお誘い冊子編集発行

5. SNSの活用強化

6. その他の広報活動

組織整備委員会

1. 同窓生の活動の実態把握（理事、評議員を通じての情報収集）

2. 各支部活動の強化と支部との連携推進

3. 各種同窓会組織の同窓会HPへの登録推進（情報管理委員会と連携）

財務委員会

1. 収入（入会金、維持会費、寄付金）の増加策の検討・実施

2. 支出の削減可能対象項目の検討・実施

3. 他の委員会との協業による収入・支出の効率化の検討・実施

4. 他大学同窓会との財務面での情報交換の実施

イベント委員会

1. 総会、交流会、新年会、講演会の計画及び進行

2. 大学主催のホームカミングデー

の応援

3. 若い世代層のためのイベント促進
・ビジネスの場で活躍中の同窓生との交流の促進

八雲クラブ

1. 八雲サロンの更なる充実（八雲カフェバーの在り方も含めて）

・多様な講師の確保や参加者増大をめざす

・周知のためニュースレターを理事全員へ配布、学内関係各所への配布

・理事全員の八雲クラブへの入会勧誘

2. 同窓会と現役学生の交流の場として八雲クラブの活動内容の見直しとその実施

3. 八雲クラブ会員の増加と利用率拡大のための広報活動の強化

4. ホームページと連携を強め、積極的に入会希望者等を取り込む

5. 年会費未納者への個別的な対応（督促等）

6. 八雲クラブ利用者の実態把握

情報管理委員会

1. 海外ネットワークの立ち上げおよび整備（組織整備委員会と連携）

2. 同窓会HPを通じてのより有効な情報発信の在り方の検討（広報委員会と連携）

・当面の目標として同窓会HPとフェイスブックのリンク

第15期 同窓会活動報告

2018年8月1日～

2019年7月31日

1. 会員に対する活動

・会報発行

・TMU会報14号

発行部数3万5041部

2018年11月発行

・TMU春季会報14号

発行部数3万3584部

2019年5月発行

なお、今期より、長期間年会費支払いのない会員のうち特定期の会員に対して、以後会費納入がないときは、会報送付を停止する。

・交流会、新年会

交流会 11月3日(土・文化の日)

国際交流会館 ルヴェンソヴエール

参加者151名

新年会 2月3日(日)

明治記念館 参加者44名

・ホームページ及びメルマガによる情報発信

14期に開始したメルマガによる情報発信は、毎月1回継続

2. 会議等

・理事会・第98回理事会(第105回理事會(臨時理事会1回を含め8回開催))

・第15回評議員会・10月13日(土)

南大沢キャンパス

議題・第14期決算・15期予算審議、

議題・第14期決算・15期予算審議、

決定

・第15回総会・11月3日(土 文化

の日) 国際交流会館大会議室

議題・第14期決算・第15期予算承認

・支部活動

支部総会には、大学側幹部が全て

出席された。

・北海道支部 12月1日(土)

黒石会長 吉武学長特任補佐出席

九州支部 2月17日(日)

黒石会長 山下副学長出席

関西支部 5月11日(土)

黒石会長 清水副学長(学生サポ

ートセンター副センター長) 出席

中部支部 6月9日(日)

黒石会長 上野学長出席

東北支部(懇親会) 7月27日(土)

松浦事務局長出席

・シンガポール都立大・首都大同窓会

・歓迎会等複数回開催

3. 八雲サロ

詳細は24ページ参照

4. 学生支援

平成30年度スポーツ・文化活動賞

同窓会長特別表彰授与 3月18日

(月) 詳細は「母校はいま」16ペ

ージ参照

・第7回プロジェクト奨励賞の授与

授与式 8月23日(金)

・大学祭支援

大学祭に対し、例年と同様に援助

・青鳩祭 10月20日(土)～21日

(日) (荒川キャンパス)

・みやこ祭 11月1日(木)～3

日(土) (南大沢キャンパス)

5. 大学との共催、協力事業

・同窓会寄付講義の提供

平成30年度も同窓会寄付講義とし

て、講師を派遣(詳細は28ページ

参照)

・キャリア支援業務への協力

就職相談員の派遣、OB・OG

交流会支援等実施

・ホームカミングデーの実施 11月

3日(土 文化の日)

講演会・「世界遺産『小笠原』の

自然―首都大学東京小笠

原研究の50年―

講師 可知直毅首都大学東京教授

・スポーツ・文化活動賞課外活動部

門への副賞贈呈 3月18日(月)

・鳥人間部(FC) 全国規模の大

会に出場

・福田 浩之 第6回与謝蕪村賞新

人賞を受賞

・各種セレモニー等での協力

・卒業式 3月22日(金) (南大沢

キャンパス) 及び25日

(月) (荒川キャンパス)

・同窓会より成績優秀者8名に記念

品贈呈(南大沢は会長、荒川は代理)

・入学式 4月4日(木) (東京国

際フォーラム) 会長出席し、挨拶

成績優秀者表彰 9月25日(火) (南

大沢キャンパス) 会長出席し、挨

拶 記念品提供

・その他 雑祭、OB・OG交流

会等への支援

6. 「東京都立大学への名称変更記

念募金」の開始

大学の名称が2020年4月より

東京都立大学へ変更されるのを記念

して「東京都立大学への名称変更記

念募金」を2019年4月より開始

した(期間は2年間)。7月31日時

点で、471件 8,590,393円

の実績。また、募金を永続的に管理

する組織として、「学生支援事業推

進委員会」を設置。

主な使途は、給付型奨学金とし「奨学金規程」を制定、2020年4月より運用予定。

7. 同窓会の名称変更についての意見募集(34ページ参照)

首都大学東京が、「東京都立大学」へ名称変更されるのに伴い、「首都大学東京同窓会」も名称変更する

必要が生じたので、会員に対し、新たな名称について意見募集を行った(2019年4月から6月末)。応募

結果は「東京都立大学同窓会」57件、「東京都立大学・首都大学東京同窓会」12件、その他11件であった。

第105回理事会にて、「東京都立大学同窓会」に決定

8. 財政基盤強化等特別委員会

弱体化している同窓会の財政基盤を強化するための方策を検討するため、財政基盤強化等特別委員会を設置し、検討を行った。検討結果について、実行できるものは、実行に着手

・大学名称変更記念募金の募集

・入会勧誘活動

新入生及び保護者に対してのパンフレット配布方法を変更し、大学配布物と同時配布。

・学生支援費の大幅な増額を目指し、同窓会予算を学生支援費・同窓会活動維持費・同窓生向け活動費に三分割し、学生支援費を将来最大にする方針を決定。来期より具体的な取り組みを開始。

・会報等印刷物送付の機会をとらえての、会費納入及び寄付お願いの送付

同窓会規約新旧対照表

前文	新 改 訂 後	旧 改 訂 前
<p>前文</p> <p>東京都立大学同窓会、東京都立科学技術大学同窓会並びに青鳩会（東京都立医療技術短期大学・東京都立保健科学大学同窓会）は、東京都の大学改革により、それぞれの大学が統合されるにあたり、4) 大学同窓会を統合し、首都大学東京同窓会を新たに発足させ、新しい規約を定めた。2020年4月より公立大学法人首都大学東京が公立大学法人東京都立大学に名称変更されるに伴い、同窓会も東京都立大学同窓会に名称変更することとし、ここに規約を改訂するものとする。</p>	<p>東京都立大学同窓会、東京都立科学技術大学同窓会並びに青鳩会（東京都立医療技術短期大学・東京都立保健科学大学同窓会）は、東京都の大学改革により、それぞれの大学が統合されるにあたり、4) 大学同窓会を統合し、首都大学東京同窓会を新たに発足させ、新しい規約を定めた。2020年4月より公立大学法人首都大学東京が公立大学法人東京都立大学に名称変更されるに伴い、同窓会も東京都立大学同窓会に名称変更することとし、ここに規約を改訂するものとする。</p>	<p>東京都立大学同窓会、東京都立科学技術大学同窓会並びに青鳩会（東京都立保健科学大学同窓会）は、東京都の大学改革により、それぞれの大学が統合されるにあたり、これまでの各同窓会活動の伝統と成果を踏まえ、母校の発展への協力、より一層の会員相互の親睦、後輩との継続性を図るため、3) 大学同窓会を統合し、首都大学東京同窓会を新たに発足させ、ここに新しい規約を定めるものとする。</p>
<p>第1条</p> <p>本会は、東京都立大学同窓会と称する。</p>	<p>本会は、東京都立大学同窓会と称する。</p>	<p>本会は、首都大学東京同窓会と称する。</p>
<p>第2条</p> <p>（事務所） 本会の主たる事務所は、東京都八王子市内に置き、必要の地に支部を設置することができる。</p>	<p>（事務所） 本会の主たる事務所は、東京都八王子市内に置き、必要の地に支部を設置することができる。</p>	<p>（事務所） 本会の主たる事務所は、東京都内に置き、必要の地に支部を設置することができる。</p>
<p>第3条</p> <p>本会は、国際都市東京の大学である公立大学法人東京都立大学（以下「大学」という。）の目的及び使命の達成に協力し、会員の英知をもつて、わが国経済・社会・文化の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦並びに知識の増進を図ることを目的とする。</p>	<p>本会は、国際都市東京の大学である公立大学法人東京都立大学（以下「大学」という。）の目的及び使命の達成に協力し、会員の英知をもつて、わが国経済・社会・文化の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦並びに知識の増進を図ることを目的とする。</p>	<p>本会は、国際都市東京の大学である公立大学法人首都大学東京（以下「大学」という。）の目的及び使命の達成に協力し、会員の英知を合わせ、わが国経済・社会・文化の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦並びに知識の増進を図ることを目的とする。</p>
<p>第7条</p> <p>（入会金） （第1項略） 2 東京都立大学又は首都大学東京の学部を卒業した者が、東京都立大学の大学院に入学した場合は、入会金の納付は、免除する。</p>	<p>（入会金） （第1項略） 2 東京都立大学又は首都大学東京の学部を卒業した者が、東京都立大学の大学院に入学した場合は、入会金の納付は、免除する。</p>	<p>（入会金） （第1項略） 2 首都大学東京の学部を卒業した者が、大学院に入学した場合は、入会金の納付は、免除する。</p>
<p>第27条</p> <p>（地方支部）本会は、第3条の目的を達成するため、国内及び海外に支部を置くことができる。</p>	<p>（地方支部）本会は、第3条の目的を達成するため、国内及び海外に支部を置くことができる。</p>	<p>（地方支部）本会は、第3条の目的を達成するため、国内に地方支部を置くことができる。</p>
<p>附則（令和元年10月19日）</p> <p>1 本規約は、令和2年4月1日から施行する。 2 施行日前に首都大学東京同窓会会員であった者は、施行日後は東京都立大学同窓会会員となる。</p>	<p>1 本規約は、令和2年4月1日から施行する。 2 施行日前に首都大学東京同窓会会員であった者は、施行日後は東京都立大学同窓会会員となる。</p>	<p>凡例……追加……………削除</p>

新同窓会の名称は 東京都立大学同窓会に決定

新同窓会名称決定の経緯

1. 2019年4月～6月に行った新同窓会名称意見募集結果（下記）を踏まえて、全意見の70%（57件）を占めていた「東京都立大学同窓会」とする案を理事会で決定し、10月の評議員会へ提言しました。評議員会の承認を経て11月の総会に報告し、2020年4月から大学と同時に名称変更することが決定しました。
2. 首都大学東京卒業生への配慮について

下記応募意見に「東京都立大学・首都大学東京同窓会」案も12件ありましたが、現在の同窓会は、統合時の4大学の他、新制大学設立以前の卒業生も構成メンバーになっているので、①大学と同様に同窓会もホームページに同窓会沿革欄を設けて構成メンバー（首都大学東京卒業生ほかも含まれる）の説明をすることになりました。

また、②時機を見て通称を公募することとし、特に③改称後当分の間は、新名称同窓会に首都大学卒業生も当然含まれることを同窓会の各種広報において明示することになりました。

前組織整備委員長
荻原 信吾（都24期・文学・仏文）

【同窓会名称意見募集結果】

2019年4月～6月末募集

	名 称 案			合 計
	東京都立大学	東京都立大学・首都大	そ の 他	
旧 都 立 大 卒	55	8	10	73
旧 科 技 大 卒				
旧 医 技 短 ・ 保 科 大 卒	1			1
首 都 大 卒	1	4		5
他 大 学 卒			1	1
合 計	57	12	11	80

東京都立大学への 名称変更記念募金のお願

首都大学東京は、2020年4月、「東京都立大学」と名称を変え、新た

なスタートを切るようになりました。

同窓会としては、この機会をとらえ、同窓生の皆様から寄付金を募り、記念事業を企画しました。

今後の大学発展には、いかに優秀な学生を確保できるかそしてそのためには学生が学べる環境を充実したものにすることも極めて重要と考えます。

そこで、同窓会として、在校生への支援と大学との連帯を強めることを目的に下記の事業を計画し、この事業を行う資金に充てるため、**大学名称変更記念募金**を実施することとなり、下記の要領による募金活動を実施しております。

すでに多数の会員からご協力を頂いておりますが、引き続き多くの会員の皆様からの募金をお願い申し上げます。

記

1. 募金名称 大学名称変更記念募金
2. 目的 大学に在学する学生への支援を充実
3. 事業内容
 - (1) 給付型奨学金制度の創設
 - (2) 大学名称の変更に伴う、大学からの学生支援の要請に応える。
4. 募金目標額 1億円
5. 使途予定
 - (1) 給付型奨学金制度 8000万円

(2) 大学要請による備品購入 2000万円

6. 一口当たり金額 5000円
7. 一人当たり口数 原則として2口以上でお願いします。

8. 募集期間 2019年4月から2021年3月31日まで

9. 納付方法 振込用紙次の二つの指定口座のうち便利な方に、振込により納付くださるようお願いいたします。

(1) 郵便局

(2) みずほ銀行南大沢支店
10. 基金の管理 この基金につきましては、次のような仕組みを設け、適正に管理します。

(1) この基金のため上記の口座を新設し、他の資金とは別に管理します。

(2) 次の常設の委員会を設け、管理運営します。

学生支援事業推進委員会
メンバーについては、4ページ参照。

東京都立大学同窓会

奨学金規程

2019年8月21日理事会決定

趣 旨

第1条 この規程は、大学名称変更記念募金を原資とする奨学金について定めるものである。

奨学金の目的

第2条 東京都立大学同窓会（以下「同窓会」という）は、東京都立大学の学生の充実した学生生活の実現を支援するため、「東京都立大学への名称変更記念募金」を原資として基金を設け、東京都立大学の学生に対する奨学金を支給することとする。

2 この奨学金は、返還を要しない。

奨学金の名称

第3条 この奨学金は、「大学名称変更記念募金同窓会奨学金」（以下「奨学金」という）と称する。

奨学金の対象者

第4条 本奨学金の支給対象者は、東京都立大学同窓会規約第5条第2項に定める準会員のうち学部在籍する学生であつて、経済的支援を必要としかつ成績優秀である者とする。

給付金額

第5条 奨学金の額は、一人当たり、月額3万円とし、支給期間は1年間とする。在学中複数回の受給を妨げないが、その場合であつても、再度申請の上、審査を受けなければならぬ。

2 奨学金は、原則的に毎月1回対象者の指定口座へ払い込むものとする。

受給者数

第6条 受給者は各学部から各1名とする。

大学への協力の依頼

第7条 同窓会は、大学に対し、要

件を付して受給候補者の推薦を依頼する。また、受給者に関して、必要な情報の提供を要請する。

受給者の決定

第8条 同窓会は、前条により推薦を受けた候補者について、理事会で支給の可否を決定する。

支給の中止又は取り消し

第9条 次の事由が生じたときは、支給期間内であっても以後の支給を停止する。

- (1) 停学・退学等の処分を受けた場合
- (2) 休学した場合（留学を理由とする休学を除く）
- (3) 出席率が低く、学習意欲が低いと判断される場合
- (4) その他、奨学金を支給することが適当でないと判断される場合

合

受給者の卒業後の同窓会活動への参加、協力

第10条 受給者は、卒業後、住所等の連絡、評議員への就任、総会への出席等できるだけ同窓会活動に参加、協力するよう努めるものとする。

併給

第11条 本奨学金の受給を受けている学生が、他団体等からも奨学金を受給することを妨げない。

規程の改正又は廃止

第12条 本規程の改正又は廃止については、理事会の承認を経なければならぬ。

細則

第13条 この規程の実施に必要な細則については、別に定める。

附則 本規程は2020年1月1日より施行する。

2 2020年1月1日から2020年3月31日までの間は、「東京都立大学」は「首都大学東京」と読み替えて適用するものとする。ただし、第2条第1項中「東京都立大への名称変更記念募金」の部分を除く。

大学名称変更記念募金への御礼

「名称変更記念募金」につきましては、昨年4月の募集開始以来これまでに約580名という多くの方からご協力をいただきました。

まことにありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

これまでいただいたご芳志を基に、2020年4月から、7名の学生に対して奨学金支給を行う予定です、ただ今準備を進めています。

まだまだ目標額には届いておりません。

募集期限は、2021年3月までとなっております。

引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

大学名称変更記念募金者名簿

2019年12月31日現在

* 大学名なしは旧都立大学、科は旧科学技術大学、医は旧医療技術短大、保は旧保健科学大学、首は首都大学東京の略

氏名	卒期	学科	後藤 博 1 建築	神山 二郎 3 工化	篠原 泰司 4 物理	雨宮 敏明 5 経済
小林 忠雄 1 経済	河村 襄 1 工化	吉岡 正章 3 工化	野原 剛 4 化学	千ヶ崎 新 5 経済		
津田 明 1 物理	内山 榮一 2 経済	西本 一成 4 経済	神足 勝丈 4 機械	村山 祥彦 5 経済		
銭谷 徹 1 機械	川島 岩治 2 経済	藤木 彦治 4 経済	細川 義政 4 機械	小松原 久夫 5 英文		
矢代 隆二 1 電気	小柴 恭男 2 電気	岡本 弘道 4 法学	稲原 高行 4 電気	鈴木 将 5 物理		
長谷部 和夫 1 土木	田中 和夫 2 土木	松田 充弘 4 法学	伊地知 季顕 4 建築	戸澤 満智子 5 化学		

肥沼 孝司 5 建築	市川 正 8 工化	山口 洋 11 電気	相生 啓子 14 生物	浜田 敏男 16 電気
小野崎 敏 5 工化	光藤 康子 9 社会	大石 不二夫 11 工化	大澤 昭夫 14 生物	植田 稔 16 工化
稲垣 陽造 6 法学	江守 善昭 9 法学	藤森 健司 12 英文	辛島 由美子 14 生物	北村 直樹 16 土木
植村 峻 6 法学	仲達 節夫 9 法学	須磨 一彦 12 独文	森脇 靖子 14 生物	岸 信子 17 法律
大塚 昶之助 6 法学	花村 厚臣 9 法学	佐久間 義一 12 法学	加藤 好武 14 地理	志賀 紀雄 17 機械
黒崎 榮 6 経済	原口 一幸 9 法学	松見 豊和 12 経済	石原 裕 14 機械	京才 俊則 17 土木
宮川 喜晃 6 経済	岡 聰雄 9 経済	石館 陸男 12 機械	中島 知行 14 機械	芦沢 清隆 17 建築
石渡 名澄 6 化学	所 弘之 9 経済	下田 俊雄 12 電気	松尾 誠 14 電気	佐野 順治 17 建築
柳原 榮一 6 化学	松沢 昭夫 9 経済	中岡 久士 12 電気	福田 寛允 14 土木	永田 巍 17 建築
芦川 和夫 6 機械	村上 征一 9 経済	中澤 勳 12 電気	横内 脩二 14 土木	佐藤 信弘 17 工化
遠藤 利雄 6 機械	岡 義雄 9 物理	嶋津 謙 13 英文	高見澤 邦郎 14 建築	高澤 昭雄 17 工化
高橋 英雄 6 機械	山本 道雄 9 生物	古関 吉樹 13 法学	渡辺 康明 14 建築	片瀬 隆雄 17 化学
横山 恭之 6 機械	久崎 力 9 電気	渡邊 洋三 13 法学	安藤 邦雄 14 工化	岡本 寛昭 17 土木
菊池 雅子 6 独文	村田 錦彦 9 電気	山口 邦彦 13 経済	来住 賢一 14 工化	中島 平三 18 英文
澤井 泰 7 法学	梅沢 仁治 9 土木	松岡 俊雄 13 物理	池上 恵子 14 英文	山田 敏夫 18 法律
川端 勝次 7 経済	草野 弘久 9 土木	関根 敬一 13 化学	森 妙子 15 心理	渡辺 岳彦 18 法律
丸山 雅道 7 経済	青木 邦子 9 心理	池辺 一男 13 生物	小林 美恵 15 史学	会沢 厚 18 経済
武居 文彦 7 化学	市岡 康子 10 社会	新島 溪子 13 生物	石井 勝彦 15 経済	高橋 一夫 18 数学
風間 仁 7 電気	木津 克司 10 法学	石坂 直 13 機械	松澤 陸雄 15 経済	浅田 隆 18 機械
佐藤 信一 7 電気	江幡 吉信 10 経済	小野田 博 13 機械	吉田 晃 15 物理	井出 義男 18 機械
田村 貞雄 7 電気	高野 健一 10 経済	諏訪内 幹弘 13 機械	川合 正俊 15 化学	田中 學 18 機械
平松 晃 7 土木	新谷 進 10 経済	高野 六雄 13 機械	土山 正 15 機械	保倉 俊一 18 建築
長谷川 益男 7 工化	中野 雅博 10 経済	村松 叡 13 電気	速水 国基 15 機械	八木 宏 18 工化
松元 章 7 工化	肥沼 徳寿 10 物理	森 正昭 13 電気	高橋 勝 15 電気	中林 一樹 18 建築
湯原 美陽子 7 国文	伊藤 朋恭 10 化学	石井 孝男 13 土木	岩田 一昭 15 土木	矢島 直子 19 英文
近藤 裕 8 中文	高橋 光次郎 10 機械	久間木 信夫 13 土木	國府 勝郎 15 土木	辻本 勤 19 政治
柏原 哲治 8 法学	石渡 昭夫 10 電気	時吉 寛 13 土木	近藤 光 15 土木	大貫 憲明 19 経済
澤井 佳子 8 法学	跡部 輝彦 10 工化	皆川 欽一 13 土木	三木 武夫 15 建築	望月 一人 19 経済
藤岡 昭 8 法学	西尾 正嗣 10 工化	志波 直男 13 建築	三木 ミチコ 15 建築	吉田 俊雄 19 数学
池田 昭 8 経済	横山 民司 10 独文	清水 昌子 14 心理	浜本 欣也 16 法律	菊地 博 19 機械
石岡 義久 8 経済	今出 鉄夫 10 数学	川辺 昇 14 法学	樋口 勝美 16 法律	中山 隆 19 機械
蒲田 哲也 8 経済	篠木 昭夫 11 法学	河浦 照男 14 経済	三島 祥孝 16 法律	小西 良造 19 電気
佐々木 莞雄 8 経済	高橋 義哉 11 法学	黒石 輯 14 経済	鳴島 敦雄 16 政治	橋本 悟 19 電気
米谷 喜男 8 経済	村田 芳胤 11 法学	河野 邦宏 14 経済	海野 八尋 16 経済	山根 益男 19 電気
遠藤 慶三 8 物理	田代 瑛 11 経済	小屋 忠機 14 経済	河井 信 16 経済	長谷川 宏 19 工化
白井 英次 8 物理	原 光昭 11 経済	佐伯 耕司 14 経済	高橋 久明 16 経済	水津 まき子 20 社会
高宗 寛暁 8 物理	山本 英輔 11 経済	清水 一孝 14 経済	金子 和夫 16 化学	藤本 万里 20 中文
内田 道夫 8 化学	吉原 信男 11 化学	田口 裕 14 経済	森 素子 16 化学	沼澤 秀雄 20 法律
大山 俊之 8 化学	吉田 勝彦 11 生物	林 正弘 14 経済	岡 秀一 16 地理	遠藤 宣男 20 政治
重原 好次 8 化学	諏訪 淳嗣 11 機械	木内 一雄 14 物理	今井 信一 16 機械	庄子 友康 20 政治
石井 暢夫 8 機械	今道 周雄 11 電気	渡辺 榮一 14 物理	小林 茂之 16 機械	高橋 誠 20 経済
栗山 登 8 機械	長田 貴雄 11 電気	鈴木 蕃 14 化学	横川 昭夫 16 機械	土谷 雅雄 20 経済

柿堺 至 20 土木	宮本 公隆 23 工化	豎山 雅昭 27 経済	具 滋弘 32 経済	新井 浩司 41 数学
才川 忠男 20 土木	荻原 佐江子 24 仏文	北原 孝育 27 物理	内田 邦男 32 物理	吉川 邦浩 41 電気
鈴木 隆雄 20 土木	荻原 信吾 24 仏文	蓮見 輝雄 27 化学	萱沼 公恵 32 化学	石田 紀彦 41 土木
鈴木 敏郎 20 土木	橋本 孝仁 24 法律	佐藤 好男 27 土木	鈴木 聰 32 電気	松本 公一 45 機械
井上 良夫 20 建築	水田 秀子 24 法律	山岸 徹也 27 土木	根津 嗣郎 32 建築	中村 貴司 42 経済
河口 修 20 電気	奥村 彰太郎 24 経済	内山 正治 27 工化	三原 好博 33 史学	今津 剛 42 物理
内田 彰 21 法律	清水 正久 24 経済	松葉 元 27 工化	菅田 信義 33 経済	知見 聡美 42 生物
篠 秀一 21 経済	鈴木 一代 24 経済	金子 眞也 27 中文	鈴木 毅彦 33 地理	土井 淳 46 航空
名古屋 和明 21 経済	中島 豊六 24 経済	前田 東一 27 機械	落合 伸一郎 33 機械	武田 清志 43 経済
佐藤 恒夫 21 電気	高橋 茂樹 24 数学	林 敬久 28 史学	佐藤 祐一 33 電気	横山 英明 43 化学
奥田 修一 21 建築	岩村 早苗 24 生物	川越 いつえ 28 英文	石原 恵一 33 土木	齋藤 夕子 47 地域
藤野 立夫 21 建築	川崎 操 24 地理	石井 光一 28 経済	内野 祐司 33 土木	原田 亮 44 政治
隅野 克子 22 法律	廣井 徹磨 24 機械	原 康成 28 経済	塩月 知道 33 土木	立川 智之 44 材化
森田 秀樹 22 法律	渡辺 啓一 24 機械	若井 隆男 28 経済	岩崎 真人 34 法律	櫻井 賢一 45 心理
丑山 佐千男 22 政治	波多野 純一 24 土木	大久保 亨 28 電気	小野 修一 34 法律	佐藤 珠実 45 政治
山川 徹 22 政治	徳岡 浩 25 社会	竹田 直規 28 電気	尾上 志保 34 法律	淀川 咲 47 心理
澤井 實 22 経済	中村 政和 25 法律	田中 恒男 28 土木	内田 貴範 34 数学	塩見 育子 47 政治
高澤 陽子 22 経済	内田 宏壽 25 経済	嶋原 孝之 28 建築	五井 尚人 34 建築	栗原 純子 47 建築
高田 勇紀夫 22 経済	矢沼 彰 25 経済	曾 士才 28 中文	下西 浩二 35 生物	牧原 立 48 仏文
岸 修 22 数学	上原 貴史 25 物理	原 理津子 29 史学	福島 能彰 35 機械	比嘉 英樹 48 生物
岩松 雅夫 22 物理	比留川 京子 25 化学	板井 要二 29 法律	大杉 真 36 仏文	李 徹 48 物理
工藤 英治 22 化学	中谷 光弘 25 機械	栗山 学 29 法律	岡村 統子 37 心理	岩崎 真典 43 生産
井上 一男 22 機械	八木 隆 25 機械	小柳 淳 29 法律	小林 護 37 国文	米川 慶一 50 経済
大西 純一 22 機械	浅川 賢次 25 土木	富田 広美 29 土木	齋藤 綾子 37 国文	三輪 正敬 51 心理
末岡 眞純 22 土木	五十嵐 安雄 25 土木	石島 理充 29 工化	田中 彰 37 法律	井上 航 51 政治
廣瀬 省蔵 22 建築	山本 裕三 25 工化	高橋 玲子 29 工化	福田 利津 37 経済	佐伯 哲郎 52 法律
吉田 等 22 建築	加藤 裕 26 法律	福田 哲二 30 社会	米山 美景 37 化学	佐藤 友幸 46 看護
内山 美津子 23 法律	石澤 清明 26 経済	石井 洋 30 史学	大塩 真 37 機械	野口 賢一 54 政治
古賀 芳夫 23 法律	加藤 久 26 経済	森川 美砂 30 法律	笹山 博 37 土木	宮崎 辰徳 54 数学
大平 晃司 23 政治	滝口 亨 26 数学	椎名 進 30 政治	土屋 博訓 37 建築	首藤 康志 54 工化
上笹 郁夫 23 経済	江川 龍太郎 26 電気	山本 恵三 30 経済	松村 いずみ 38 法律	岡林 路子 55 生物
近藤 秀衛 23 経済	利光 章 26 電気	清水 治郎 30 物理	宮原 大介 38 政治	加藤 香菜子 2009 生命
杉山 由彦 23 経済	村上 茂樹 26 電気	三橋 涉 30 生物	古賀 武司 38 経済	籠田 大地 2011 化学
平原 純夫 23 経済	古里 実 26 建築	片桐 拓朗 30 電気	寺尾 誠治 39 史学	鈴木 健太 2013 情通
福良 みどり 23 経済	山本 正紀 26 建築	土屋 徳寿 30 土木	平山 英敏 39 中文	阪東 進 2014 経済
吉田 聡 23 経済	江崎 敦雄 26 工化	佐藤 武志 30 建築	髭野 実 39 法律	岡田 英之 2016 経営
嶋崎 壽勝 23 物理	林 裕子 27 史学	高橋 英男 31 物理	雨宮 弘 39 機械	鈴木 智大 2017 政治
小山 善生 23 化学	山田 真弘 27 英文	志村 喬 31 地理	山田 賢 39 機械	岩下 翔太郎 2018 経営
清水 敬一郎 23 機械	安井 由美子 27 独文	大森 保 32 法律	高橋 雅之 40 法律	近藤 常葉 2018 看護
吉田 雅俊 23 機械	河野 容子 27 法律	森下 芳行 32 法律	望月 英生 40 政治	芝田 健仁 2018 物理
多田 純介 23 土木	村松 博之 27 政治	渡邊 百合子 32 法律	北田 祥規 40 電気	匿名希望者126名
中台 成夫 23 土木	加藤 雅久 27 経済	岡安 賢二 32 経済	及川 育矢 40 建築	

第16回首都大学東京同窓会評議員会 議事録抜粋

日時 2019年(令和元)年10月19日
14時00分～15時50分

場所 首都大学東京荒川キャンパス
出席者 評議員73名 委任状提出97名
(計170名で規約第23条第5項の定
足数を充足した)

一・開会と議長選出

仮議長の荻原信吾理事(組織整備委員長/都24期 人文 仏文)により開会が告げられ、同仮議長の推薦する林正弘副会長(総務委員長/都法経経 14期)が議長に選出された。続いて同議長が書記に河口修理理事(企画委員長/都20期院 電気)を指名した。

二・黒石輯会長(都14期 法経経 経済)の挨拶と第15期活動報告

・台風15号、19号が各地に甚大な被害を及ぼした。会員で被害にあわれた方がおられたら、お見舞い申し上げる。
・同窓会活動の柱の一つとして、大学との連携がある。具体的には次のような活動がなされた。

- ①支部総会に必ず学長、副学長の参加をいただいている。
 - ②ホームカミングデーは同窓会が最初に取り組んだイベントだが、最近は大学側も力を入れて展開してきている。
 - ③ひな祭りも同窓会、地域、先生方の協力を得て、年々充実してきた。
- ・前期の大きな出来事として以下の二つがある。

- ①大学名称変更が実現したのに伴い、同窓会名変更を第三号議案で審議頂く。
- ②大学名称変更に伴い「東京都立大学への名称変更記念募金(募金目標:1億円)」を開始した。募金を原資に給付型奨学金

(7学部各1名、月額3万円)とする予定である。現在、募金は97万円を集めたが、1億円の目標からは大幅に少ない。大学名変更のエネルギーをバックに募金目標を達成していきたい。奨学金規定については、第四号議案で審議していた。

三・吉田俊雄財務委員長(都19期 理学 数 学)より第一号議案(第15期決算報告)の説明

・入会金は10期とやらんで過去最高の実績だった(入会率:68.2%)。特別会計のマイナスは97万円と100万円以下になった。

加藤充子監事(都9期 法経経 経済)より、八雲クラブ特別会計を含めて資料の通り適切に処理されていると監査報告された。

四・吉田財務委員長より第二号議案(第16期活動計画案、第16期予算案)の説明

・大学との共催事業を活発に行う。
・入会率アップで入会金増を図っていく。
・募金活動を推進するため、協力をお願いしたい。

松本公一副会長(科技5期 機械)より補足説明。
・未加入会員とはアドレスなどの情報不足で連絡がとれない。皆様からの情報提供とアドバイスをいただきたい。

四・第一号、第二号議案についての質疑と採決(・質問・回答・意見)

・松見豊和(都12期 法経経 経済)
今期予算に新年会開催費がゼロになっているのはなぜか?
○松浦知彦事務局長(都15期 経済 経済)

新年会は隔年で実施することになっており、来年は行わない。

・高見沢幸夫(都12期 工学 工化)
入会率は現状では60～65%で推移しているが、これを95%程度に高めないと財政状況は厳しい。そのためには、代理徴収などの手段を取るよう大学と協議すべきではないか?
○林総務委員長
現状は厳しい状況で、検討課題として

いる。

・小野崎敏(都5期 工学 工業化学)
個人情報と大学と共有しないと、この問題は解決しないのではないか?
○林総務委員長

学生への入会案内は生協も同じように配布しているが、生協は90%以上の入会率である。配布物の中に生協はたくさん資料を入れており、その違いが入会率の差になっているようだ。来年の新人入学者への資料は内容を充実させたい。

・廣瀬省蔵(都22期 工学 建築)
同窓会は、本来、卒業生同士の親睦、交流のための組織なのだから、卒業生を多く集める交流会、新年会を開催して欲しい。たとえば南大沢は遠くて参加が見込めないから、なるべく明治記念館で開催して欲しい。また交流会、新年会への参加が少ないが、クラブ関係のOB会では、たとえば自動車部など2クラブで、それぞれ100名以上集めている例もある。要は同窓会の新年会、交流会に対する働きかけが弱いのではないか?

○黒川信副会長(都理 学 生物 28期)
たとえば生命科学系でいえば、多くの会員に対して交流会、新年会への参加を呼びかけている。自動車部などに対しては声かけをお願いしたい。ただし明治記念館にすると会費が1万円近い会費になる。そうなると参加しにくい。会場につ

いては今後も検討したい。

・大平晃司(都23期 法 政治)
多摩みやこ会という各種同窓会を立ち上げ、多摩市を中心に同窓会活動を行っている。このような地域同窓会を含めた各種同窓会になると補助金がもらえる制度になっているが、まずは会員のデータを入手することが前提になっている。同窓会として援助をお願いしたい。

○荻原組織整備委員長
地域同窓会は各種同窓会の制度を活用してほしい。

・高橋誠(都20期 経済 経済)
現時点で名称変更記念募金は875万円に達し、さらに7月末から9月に110万円増加しているが、まだ気は抜けない。今後、どのように展開するのか?
たとえば、今後、募金活動を加速するためには、寄付した方への御礼をするべきではないか? また、寄付した人の名前を公表すべきではないか。

○松浦事務局長
今のところは、身近な人に声かけていくことでやってきた。本格的に募金活動を強化するには、新たな組織を立上げる必要がある。寄付していただいた方への礼状は至急送付したいと考えている。

○林総務委員長
寄付者の氏名公表はTMU会報で行う予定である。

第一、二号議案が一括して採決され、賛成多数で承認された。

五・第三号議案 同窓会名称の変更および同窓会規約の改正

荻原組織整備委員長より説明された。
・意見募集を行った結果、全体の7割を占める「東京都立大学同窓会」とする。この名称なら長すぎないし、なじみやすいということで支持されたのではないかと。通称は別途、公募する予定である。

第16回首都大学東京同窓会総会 議事録抜粋

・首都大学卒業生への配慮として、首都大の存在を将来まできちんと伝えるために、今後、ホームページに別途、沿革を充実させて載せる。
・同窓会名称変更に伴い、同窓会規約の一部(前文、1.2.3.7、27条、附則)変更する。

六・第三号議案についての質疑と採決
根谷崎武彦(都10期 理化学)
通称はすぐに決定する必要があるのではないか？

○林総務委員長
急いで決定する必要はないと考える。
・内山美津子(都23期 法、法律)
会員は平均して卒業後どの程度経ているか？

○小原弘道理事(科技3期 機械)
都立大卒業生は卒業後平均して25〜28年程度、首都大卒業生は30歳少し前の年齢になる。同窓会をいろいろな世代交流が出来る場にしたらどうか。
★田中和夫(都2期 工土木)
通称は早くに決めるべきではないか。使いやすくなじまれているので「八雲会」を採用して欲しい。

★山川徹(都22期 法政治)
通称はTMUで良いのではないか。ただし通称をここで決めるのは無理だ。
★上野高暉(首22期 教養、法律)
通称は評議員会で選ぶべきではない。第三号議案が採決され賛成多数で承認された。

七・第四号議案 名称変更記念奨学金制度の新設
松浦事務局長より同制度について説明された。
・奨学金は返還を要しないものとする。
・毎年、大学より推薦を受け、各学部1名ずつに月額3万円を給付する。

八・第四号議案についての質疑と意見と採決
・吉原信男(都11期 理化学) 現状では募金が10000万円程度集まっているが、このままではすぐ枯渇する。今後、募金活動をどうする？
○松浦事務局長 たしかにこの程度では3〜4年で財源が枯渇する。今ある寄付金制度を活用して拠出を募り、永続的に維持できるようにすることを考えている。
★吉田雅俊(都23期 工機械) 継続寄付、遺贈寄付制度を設けたらどうか？
・小松芳雄(都11期 法経経) 奨学金募金規定の第10条に「受給者は…同窓会活動に参加、協力するよう…」となっているが、受給者は強制的に同窓会活動に携わるようすべきではないか？
○林総務委員長 強制しても実効がないだろうということ、このような表現にした。

九・第五号議案 理事・監査改選
林総務委員長が旧東京都立大学同窓会、旧東京都立科学技術大学、旧青鳩会、首都大学東京卒業生の各ブロックの評議員より理事を選出した経緯と理事改選名簿及び監事候補について説明した。
第五号議案が採決され満場一致で承認された。

ここで、評議員会は一時休憩し、その間に別室で会長、副会長選任をする臨時理事会が開かれた。臨時理事会終了後、評議員会を再開し、臨時理事会議長の吉田俊雄理事より新しい理事役員名簿が発表された(4ページ理事役員名簿参照)。また理事の定員に達していない首都大出身理事として上野高暉(首2016年入学 教養 法律)の立候補が諮られ、満場一致で承認された。

15時50分 林議長が閉会を宣言した。

日時：2019(令和元)年11月3日
(日) 15時30分〜15時45分

会場：首都大学東京南大沢キャンパス
出席者：会長・副会長4名・理事・評議員
・正会員計105名 事務局2名

一・松本公一副会長(科技5期 機械)が司会となり閉会を宣言した。
10月19日開催の臨時理事会で新任された吉田雅俊会長(都23期 機械)が首都大学東京同窓会規約第24条第2項の規定により議長となり、同議長が河口修理事(都20期 院電気)を書記に指名した。

二・吉田雅俊会長の挨拶と15期活動報告
この度、新会長に選任された。よろしくお願ひしたい。
・2005年に都立大、短大など4校を統合して首都大学東京になったが、現在の首都大は規模、内容ともに、私が旧都立大に在籍した頃よりも大きくなっているように思う。
・来年4月1日より大学名が東京都立大学に変わるが、卒業生として、また都民として、都立大に協力していきたい。
・同窓会の財政基盤を強化し、都、大学と連携を取りながら都立大のさらなる発展に寄与していきたい。

・第15期の活動については議案書にあるので詳細は省略するが、特筆すべきこととして次の2点を挙げたい。
①大学の名称が2020年4月1日より東京都立大学になることが正式に決まった。またそれに伴い同窓会の名称も同じく4月から東京都立大学同窓会に変更されることになった。
②同窓会は、学生支援を最重点事項として取り組むことにした。その具体策として、大学の名称変更を記念して、同窓会として初めての取り組みとなる奨学金制度を創設し、そのための募金活動を開始した。ただし募金は思うように進んでおらず、今後はより強力に推進したいと考えている。

三・林正弘評議員会議長による第16回評議員会報告
(議案や質疑については前項の第16回評議員会議事録参照)
・評議員会では各議案の説明の後、活発な議論と質疑応答が行われ、各議案ともほぼ満場一致で原案通り決定された。

四・閉会
会長が閉会を宣言した。
その後、引き続き同じ会場において上野淳学長より首都大学の現状と「ホームカミングデー」について説明があった。学長のお話の後、学内のレストラン、ヴェンペールに会場を移し、交流会が和やかに行われた。

お知らせ
同窓会報発行のスケジュールが変更されたため、2018(平成30)年10月13日(土)開催の第15回評議員会、ならびに同年11月3日開催の第15回総会の議事録抜粋が、紙幅の関係で掲載できなくなりました。これらの議事録は同窓会ホームページに掲載します。
議事録の郵送をご希望の方は、ファックスかメールで同窓会事務局までお申し出ください。連絡先については巻末の奥付を参照してください。

維持寄付金受領のお礼

ご報告とお願い

維持寄付へのご賛同有難うございました。

新しい寄付制度による「維持寄付」については、皆様のご協力により、終身会費の納入後10年以上経過された方々約9,600名のうち、制度創設以来、3,000名を超える多くの皆様から、約3,200万円のご寄付をいただきました。

同窓会の収支に大きな力となっております。

大変ありがたく、感謝申し上げます。

特に、現役学生に対する支援は、同窓会としても、今後もっともっと力を入れていきたいと考えております。

引き続き皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。第15期(2018. 8. 1～2019. 7. 31)の実績は、右記のとおりです。

I 維持寄付

1. 終身会員で10年以上経過の方 136名 約252万円
2. その他の方 45名 約66万円

II 目的寄付

22名 35万円

III 寄付頂いた方の名簿は、以下のとおりです。(敬称略)

1. 維持寄付名簿(終身会員で、納入後10年以上経過された方から寄付頂いた方です)
2. 目的寄付名簿
3. 維持寄付名簿(上記以外の方です)

*大学名なしは旧都立大学、科は旧科学技術大学、医は旧医療技術短大、首は首都大学東京の略

1. 終身会費を納入後10年を経過した会員へお願いした「維持寄付」 2019年12月31日現在

氏名	卒期	学科	仲達 節夫 9 法学	石坂 直 13 機械	海野 八尋 16 経済	小林 一三男 21 土木
藤倉 和明 1 英文	草野 弘久 9 土木	小原 健一 13 機械	倉橋 昌司 16 化学	藤野 立夫 21 建築		
長谷部 和夫 1 土木	市岡 康子 10 社会	泰山 英樹 13 土木	森 素子 16 化学	工東 光夫 21 工化		
河村 襄 1 工化	浦野 雄二 10 経済	志波 直男 13 建築	服部 セツ子 16 地理	高塩 博 21 工化		
橋本 具久 2 法学	高野 健一 10 経済	川辺 昇 14 法学	浜田 敏男 16 電気	田中 妙子 22 英文		
金子 武司 3 経済	長崎 邦夫 10 経済	黒石 輯 14 経済	高木 攻 16 土木	澤井 實 22 経済		
君島 久子 2 中文	神尾 裕 10 機械	河野 邦宏 14 経済	北村 直樹 16 土木	高田 勇紀夫 22 経済		
神足 勝丈 4 機械	篠崎 次郎 10 機械	田口 裕 14 経済	佐治 悦子 17 史学	工藤 英治 22 化学		
小松原 久夫 5 英文	富田 宇司雄 10 土木	田村 俊夫 14 数学	相沢 将雄 17 経済	西田 三郎 22 地理		
角田 延夫 5 物理	吉川 武 10 建築	渡辺 榮一 14 物理	喜入 博 17 地理	大西 純一 22 機械		
阿川 清 6 法学	横山 民司 10 独文	大部 一夫 14 化学	崎山 武俊 17 電気	斎藤 泰一 22 電気		
松川 昭 6 数学	吉本 幸一 11 経済	浅田 陸夫 14 工化	京才 俊則 17 土木	廣瀬 省蔵 22 建築		
柳原 榮一 6 化学	吉原 信男 11 化学	安藤 邦雄 14 工化	永田 巍 17 建築	若本 英次 22 建築		
中杉 録郎 6 機械	横山 玲子 11 生物	森 妙子 15 心理	石井 晴一 17 工化	平 幹雄 22 工化		
本間 隆 6 建築	堀江 昭彦 11 機械	中島 暉允 15 法律	皆川 勇夫 18 法律	内山 美津子 23 法律		
新楽 大輔 7 英文	横手 久典 11 機械	横山 征児 15 法律	鈴木 一吉 18 経済	山本 博司 23 法律		
澤井 泰 7 法学	今道 周雄 11 電気	神山 昌美 15 政治	牧 英樹 18 土木	真島 健一 23 物理		
宮田 元範 7 化学	森 佐美雄 11 電気	松浦 知彦 15 経済	大貫 憲明 19 経済	清水 敬一郎 23 機械		
長谷川 益男 7 工化	大槻 晃 11 化学	石川 琢磨 15 物理	長谷部 祐介 19 経済	中台 成夫 23 土木		
湯原 美陽子 7 国文	小川 正恭 12 社会	小暮 攻 15 物理	橋本 正弘 19 電気	北河 隆之 24 法律		
近藤 裕 8 中文	黒田 亘 12 法学	鶴田 光子 15 物理	上野 淳 19 建築	奥村 彰太郎 24 経済		
柏原 哲治 8 法学	松見 豊和 12 経済	速水 国基 15 機械	矢島 一敏 20 心理	中島 豊六 24 経済		
藤岡 昭 8 法学	金田 房江 12 化学	前川 潤二 15 機械	松原 暁 20 法律	伊藤 隆介 24 物理		
蒲田 哲也 8 経済	太田 弘 12 電気	市瀬 正寛 15 電気	庄子 友康 20 政治	秋山 雅史 24 地理		
南部 敦 8 化学	友松 知宏 12 電気	根本 洋 15 土木	土谷 雅雄 20 経済	幸元 克彦 24 機械		
林 恭輔 8 機械	山崎 淳子 13 英文	伊藤 嘉人 16 法律	細田 純 20 工化	渡辺 啓一 24 機械		
吉田 英行 8 機械	古関 吉樹 13 法学	大内 忠夫 16 法律	宇賀神 博 21 心理	波多野 純一 24 土木		
佐藤 利明 8 工化	喜多村 允彦 13 経済	浜本 欣也 16 法律	笹川 耕太郎 21 地理	田中 努 25 建築		

池上 昌弘 26 法律	林 敬久 28 史学	大内 章生 31 法律	笹山 博 37 土木	鈴木 恵理子 44 社会
岡田 千津子 26 法律	小島 やす子 28 法律	石川 博之 31 電気	浦 誠 科1 管理	陸川 浩司 44 電気
成山 修一 26 法律	高橋 友三 28 経済	具 滋弘 32 経済	松永 洋子 医1 地域	中村 耕太 44 工化
小林 桂一 26 機械	田中 恒男 28 土木	山下 秀人 32 経済	瀧本 志野 38 教育	高見澤 治子 医9 作業
酒井 幸夫 26 機械	吉田 光美 29 国文	松山 哲郎 33 英文	川井 正則 38 経済	紺野 誠 46 政治
江川 龍太郎 26 電気	小柳 えり子 29 英文	深山 昌敬 33 物理	高橋 浩也 38 物理	宇佐 英幸 医2 理学
江崎 敦雄 26 工化	栗山 学 29 法律	塩月 知道 33 土木	鈴木 達也 38 土木	宇佐 桃子 医12 理学
林 裕子 27 史学	大江 理一 29 機械	宮地 貢二 33 土木	清 ひろ子 39 生物	濱村 将史 49 電気
豊田 文明 27 独文	三浦 克典 29 電気	佐藤 史子 34 心理	田中 陽一 39 電気	恵比壽 美和 48 都市
大竹 悦子 27 法律	森川 誠司 29 土木	岩崎 真人 34 法律	堀江 司 科3 管理	安藤 彰信 50 教育
木村 光江 27 法律	石井 洋 30 史学	宮坂 正俊 35 建築	坂本 静代 医4 看護	菊池 さや佳 50 国文
竹井 亜矢子 27 法律	米丸 健一 30 英文	中村 純子 35 英文	白壁 桂子 40 社福	上継 康平 51 政治
島田 公男 27 数学	大橋 道夫 30 法律	高橋 賢一 36 教育	北田 祥規 40 電気	藪 謙一郎 52 精機
諸貫 信行 27 機械	田中 正志 30 生物	石原 潤子 医1 看護	高部 明敏 41 英文	山口 貴史 53 社会
島田 敬 27 土木	河合 利彦 30 電気	福田 利津 37 経済	石井 孝之 41 政治	野口 賢一 54 政治
福富 眞 27 土木	太田 武彦 30 土木	松岡 邦枝 37 化学	佐多 博暁 41 工化	首藤 康志 54 工化
松葉 元 27 工化	佐藤 武志 30 建築	根津 克己 37 地理	小川 恵子 医7 看護	
山田 輝久 27 工化	三澤 昌孝 31 史学	大塩 真 37 機械	武田 清志 43 経済	

2. 学生支援を目的とする「目的寄付」

氏 名 卒期 学科	小松 芳雄 11 経済	喜入 博 17 地理	伊藤 克博 28 生物	原田 亮 44 政治
津田 明 1 物理	杉村 哲雄 12 法学	中島 平三 18 英文	尾崎 厚司 37 土木	野口 賢一 54 政治
吉岡 正章 3 工化	松浦 知彦 15 経済	矢島 直子 19 英文	岡田 結花 医3 看護	芝田 健仁 前2008 物理
岡本 弘道 4 法学	浜本 欣也 16 法律	対馬 路人 21 経済	高橋 雅之 40 法律	
光藤 康子 9 社会	堀 那華雄 17 化学	藤野 立夫 21 建築	小林 元 40 経済	

3. 目的を定めない一般的な「維持寄付」

氏 名 卒期 学科	長田 貴雄 11 電気	太田 富士夫 18 工化	加藤 久 26 経済	半田 勝也 39 法律
神田 彌一郎 2 経済	川辺 昇 14 法学	八木 宏 18 工化	押久保 良雄 27 法律	小林 元 40 経済
小松 弘昌 3 工化	堀内 洋治 14 電気	矢島 直子 19 英文	山岸 健 27 化学	齋藤 夕子 医7 地域
吉岡 正章 3 工化	小林 美恵 15 史学	吉原 章彦 19 建築	佐藤 好男 27 土木	上原 逸誉 46 化学
西本 一成 4 経済	松浦 知彦 15 経済	中林 一樹 18 建築	松吉 俊治 29 経済	伊藤 光 47 法律
武居 文彦 7 化学	加島 聡 14 土木	柿堺 至 20 土木	中村 裕子 32 独文	栗原 純子 47 建築
石井 暢夫 8 機械	高橋 久明 16 経済	戸辺 文博 21 建築	鈴木 聡 32 電気	
光藤 康子 9 社会	柳川 修 16 経済	小山 善生 23 化学	富田 諭 33 史学	
江幡 吉信 10 経済	田中 節子 18 史学	内田 宏壽 25 経済	青木 規雄 35 経済	
中野 雅博 10 経済	中島 平三 18 英文	中谷 光弘 25 機械	西形 勝宏 医1 放射	



2018（平成 30）年度 東急八雲会

東急八雲会は、東急電鉄・東急不動産・東急建設等の東急グループ各社の本学出身社員・OBによって構成されており、現在の会員数は126名です。年に一度、懇親会を開催して会員同士の交流を深めています。

昨年度は、2019（平成 31）年3月6日（水）に東急グループのホームタウン・渋谷エクセル東急ホテルで開催され、年度末の多忙な時期に関わらず、現役社員からOBまで、幅広い世代から39名が参加しました。

当日は、会長である東急不動産株式会社 植村仁代表取締役会長の挨拶、東急建設株式会社 根本誠之常務執行役員による乾杯の後、歓談が始まりました。途中、新入会員の紹介、グループ各社（東急設計コンサルタント、東急保険コンサルティング、東急住宅リース等）からの近況報告などが行われました。その他にも、学生時代に管弦楽団に所属していた東急リパブル株式会社 上野祥吾氏によるオーボエの生演奏、別



関ゼミナール・恩師を偲ぶ会

経済学部「関ゼミナール」（社会思想史）のOBは、恩師関嘉彦先生が亡くなって13年目にあたる今年の5月、八雲クラブで「先生を偲ぶ会」を開催し、70歳から80歳を越える「教え子」達が集まりました。

「大学を出ても、1日最低15分はハードカバーの本を読むこと」、「急いで結婚はしないこと」などの先生の「教え」を酒の肴にして、先生が愛飲されたウィスキーも出され、話が弾みました。当日は先生の娘さんお二人にもご参加いただき、私達が知らなかった先生の一面についてお話を伺うことができました。

関ゼミには、「サブゼミ」を通じて先生の薫陶を受けた理工系のOBも半数近くいます。

先生は1912年生れで、戦前の自由主義思想家の河



22期建築工学科同期会

昨年5月11日（金）12時より、完成間近い新国立競技場を見下ろせる素晴らしい立地のレストラン、竹中工務店の福利施設である「アルコ」において「22期建築工学科同期会」を開催しました。

しゃぶしゃぶに舌鼓をうち、食後もラウンジで歓談して、15時過ぎ心残りでしたが解散しました。

22期生は昭和45年（1970年）に都立大学に入学しました。その年は東大入試の中止、入学時は大阪万博開催中、入学後は大学紛争真っ盛りで騒然とした時代で

途開催されている若手会の報告など、グループ内の幅広い会社で活躍するメンバーらの個性ある出し物で大変盛り上がり、例年同様に世代・会社・役職等を超えた貴重な交流の場となりました。

今後も東急グループの様々な業種、世代の同窓生と情報交換が出来る貴重な交流の場として、多くの若手社員にも参加頂きながら、継続的に開催していきたいと思えます。

飯星 明（平成12年・工学部・建築学科卒）
（東急不動産勤務）



栄治郎の門下生であることが知られています。

1949年から20年間東京都立大学に在職され、この間、1960年には民主社会党結成に際し、党綱領の起草にあたられました。都立大退官後は、森嶋通夫さんと文藝春秋誌上での防衛論争や、民社党所属の参議院議員としてのご活躍があります。

高潔な人柄とぶれない思想の人から学ぶことを得たことは、私達の幸運であり誇りです。（19期・大久保）



した。卒業の頃はオイルショックで世の中は大混乱の時代でした。苦境の中でも無事卒業し、同期生は今日まで強い絆を持って、今や古希を迎える年代となりました。建築科の同級生同士で結婚した人もいて、一番多い人は8人も孫がいます。これからも元気で毎年1回は同期会を開きたいと思っています。





漕艇部創部 70 周年記念式典

八雲艇友会（漕艇部 OB 会）が 2019 年 11 月 23 日、南大沢キャンパス内国際交流館で開催された。

来賓の上野学長は「漕艇部の 70 周年記念式典に招かれ、たいへんうれしく思う」と熱く語られた。

国体使用艇の払い下げからスタートし、アルバイトでの自艇建造・大学からの新艇建造（過去には、進水式に総長出席も）を受け活動しているが、ここ十数年は、部員減に悩み、何度も何度も廃部の危機を迎えながらも、何とか乗り越え活動を続けている。

現在部員数 15 名（4 年 0 名・3 年 1 名・2 年 5 名・1 年 9 名）で、他大学漕艇部と比べ合宿日数が少ない中、我々なりの「未経験者を育成してのレース出場と戦略」を模索しているが、残念ながらいまだ対外試合での成績には結びついていない。が、OB・現役共、この式典を「更なるステップアップ」への確実な一歩とすることを誓っている。

創部の経緯としては、昭和 24 年 5 月 15 日入学式（397 名）直後、高校でのボート経験者と兄がボート部の二人が、戸田に前年の国体使用の艇があることを知り、仲間を誘いボートを楽しむ内、艇を自分たちのものにしたくなり、学生課と体育科を通して都と払下げ折衝するも、受皿団体としての漕艇部創部が必要となり、最終的には柴田初代総長の支援も受け、秋の創部（昭和 24 年 11 月 1 日）となった。

翌 25 年 5 月 1 日、運動部連合設立時には、千葉法文学部教授を部長に、真っ先に登録した。

（八雲艇友会 第十二代会長 米山 哲夫）



21 期建築同期会（昭和 48 年卒）

大学紛争があった年に入学した 21 期建築学科卒の同窓生は、35 名（内 1 名は物故者）で全員が男性です。卒業後、しばらくは中目黒の大樽などで年末に同期会を開催していたのですが、その後は八雲クラブを使うようになり、20 年以上はここを会場にして毎年 2 月に開催しています。幹事の私がおでんの具やお新香などを入れたナップサックを担いで渋谷の八雲クラブに行き、手伝いに早めに来てくれた 2 人と 14 人分の食器類の準備やお新香のカット、おでんの煮込みを大鍋でしました。ネット注文した酒類がカクヤスから午後 6 時前に配達され、お寿司の 14 人分の桶が銀のさらから届き、定刻よりも早く、5 人が揃ったところで飲みながら料理を食べ始めました。6 時半ころには参加予定の大半が集まり、順番に参加者から近況報告をして貰いました。現在の仕事の状況や家族関係のこと

など、質問を適時、挟んで進めました。参加者の半分近くが働き続けていて、6 時の開始は会社勤めをしている人には少し早かったようです。全員で記念撮影を行って、8 時半には片づけを始め、後始末をして 9 時前には解散しました。

同窓会が所有している八雲クラブが渋谷駅から徒歩 5 分の便利なマンションの中にあるので、快適に同期会を開催することができます。準備や片付けの手間がかかりますが、一人当たり 2500 円の会費で、1 人前 1300 円程の美味しいお寿司を食べながら、たっぷり飲むことができました。名簿を整備してメールを使うと、手間もあまりかからずに開催準備ができます。



2019 年度八雲三六会

1961 年度理学部化学科生は数年前に傘寿をむかえたが、相変わらず年に一度の同期会を開いている。さすがに 80 路を越えた集団なので「元気に全員集合」というわけにはいかず、次第に出席メンバーは固定化の方向にあるが、それでも卒業時 30 数人のうちの半数前後が毎年顔合わせを心待ちにしている。

我々のころの都立大学はリベラルをモットーとしていた旧制都立高校時代の伝統が息づいており、自由な学生時代を謳歌していた。専攻する学科も教養課程の 1 年時には決められず、2 年時に進学するときに志望学科を決めていた。

入学時、右も左もわからないまま専攻学科を決めるより、入学後教養科目を学ぶうちにじっくり時間をかけて専攻を決める選択方法は、よい方法だったと思う。残念ながら人気のある志望学科に希望者殺到の傾向があったため、我々の卒業の頃には入学時に学科を決める方法に決めざるを得なかったのは大学側としても苦渋の選択だった。

前回の八雲三六会は 2019 年 11 月 12 日（火）正午、横浜・山手の KKR ポートヒル横浜に会員 14 人と夫人 1 人が集まり、昼食をともにしながら、にぎやかに歓談のひとつときを過ごすことができた。

根谷崎 武彦（都 9・理・化）



設住宅の住民の方々、また仮設住宅の住民の方々同士の交流を図ってきました。現地での活動だけでなく、大学祭で陸前高田の様子や ATO の活動の様子を展示し、まめぶ汁という岩手県の伝統料理を出し物にすることで、陸前高田の当時の状況や陸前高田の良さを私たちに広報してきました。活動を続けていくと陸前高田の方々の温かさや優しさにふれ、たくさんの大

切なことをいただいた活動であったと感じています。

私たちの活動拠点であった仮設住宅の集約に伴い ATO は今年度をもって活動終了という形になりましたが、卒業して各々が働いていてもなお、メンバーそれぞれの思いは陸前高田の人々とともにあります。最後になりましたが、私たち ATO の活動をご支援していただいたすべての方々に深く感謝申し上げます。



合気道部創立 50 周年記念式典

首都大学東京合気道部と八氣会（OB・OG の組織）は、昨年 2018 年 12 月 1 日に、創立 50 周年の記念式典を快晴の南大沢キャンパスで開催しました。

式典では、演武会とレセプションを開催しました。

前半は、「心身統一合気道会」藤平信一会長のご臨席を得て、アリーナを会場に記念演武会を開催しまし

た。在校生、招待校（7 校）、卒業生、師範による演武が華々しく披露されました。（注：「一般社団法人心身統一合気道会」は歴代師範と卒業生が属する組織）、後半は、首都大学上野学長、藤平会長、首都大合気道部高山師範をお招きし、記念レセプションを学内のルヴェゾンヴェールで開催し約 80 名が出席しました。

記念誌作成、演武会の動画記録保存、大学名の変更に伴う新部旗の贈呈なども行われました。

（19 期・経済・大久保 正雄 八氣会事務局長）



自動車部「創部 60 周年記念パーティー」を開催

1958 年に発足した自動車部は、2019 年 2 月 2 日（土）に渋谷東急 REI ホテルで「創部 60 周年記念パーティー」を開催した。出席者は総勢 60 名、元監督、元顧問をはじめ、創立メンバー他 OB&OG が約 50 名、それに府大 OB 1 名、現役部員 8 名が参加した。

記念挨拶として、創立メンバーの W 氏に創部の経緯と当時の活動状況を高齢にもかかわらず生き生きと語っていただき 60 年前の情景が沸々と甦り会場は一気に盛り上がった。

乾杯の後、「自動車部歴史スライド」が 2 回に分けて映し出され、全員で自動車部 60 年の歩みを共有しつつ、OB&OG のスピーチ、現役部員報告が行われ、笑顔が溢れた。

また会場には、「自動車部 活動の推移」が映し出され、この 60 年間の自動車部活動の中心が、世の中の激変の中で、「ラリー」、「ダートトライアル」、「ジムカーナ」、「サーキット走行」、「軽耐久レース」と、姿かたちを大きく変えてきた様子が浮き彫りにされた一方で、会場での寄せ書きには、「車好きの DNA は、

きっちり受け継がれてきた」などと書かれていた。

パーティーに先立って、「旧・都立大キャンパス跡地（目黒・深沢）見学ツアー」が行われ、特に自動車部のガレージ等活動拠点を中心に当時は懐かしんだ。

3 月には、OB&OG 会誌「ているらんぶ」の「特別増刊号（60 周年記念特集）」が発行される。そして、今年、「都立大」が復活し、自動車部のユニホームの背中も改まり、還暦を越えた自動車部のセカンドステージが動き出す。

佐々木 功（都 20・経・経）



TMU PLAZA



学術探検会 OB 会が開催されました

学術探検会は栃木県の渡良瀬遊水地をホームグラウンドに、熱気球で日本各地を飛んできました。読者の中には八雲キャンパスで係留気球に乗られた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。卒業後、OBたちは飛ぶ機会がなくなりましたが、現役学生たちはメーカーから購入した「クイナ」を使って国内の大会にも参加しており、気球界では最も長く活動している大学の一つです。

2年前にOB有志が集まり、旧交を深めたのを契機に、今年も1月26日(土)に新宿「縁(えにし)」に26人が集まり、ワイワイと時間を忘れてOB会を楽しみました。昭和57年卒業から平成元年卒業まで、懐かしい顔が揃いましたが、卒業以来、再会していないOB、OGも多く、近況報告と昔話に盛り上がり、もうすぐ定年だ、孫が生まれたと40年の時間を感じつつ、中には10kg太ったとかで、誰だっけ?という方もいらっしゃいましたが、結局は、みんな変わっていない!というのが結論でした。〇〇に会いたい、私は年賀状で連絡が取れるなど、更にメンバーが広がって行きそうな勢いです。早くも来年の新年会を予約して、2020年1月の最終土曜日に第3回OB会開催の運びになりました。次回は参加者がさらに増えて、お店の予約スペースを倍増するのが目標です。朝まで飲んだ、



まだまだ若いグループもあったようですが、また来年、元気に再会することを約して解散となりました。学生時代にできた絆は、社会人になっても続いていることを実感した次第です。

倉科 芳朗 (都31・工・機械)



オケラの会

オケラの会はオーケストラの草創期からの部員たちが2001(平成13)年より毎年12月に八雲クラブに集まって催す懇親会である。1963(昭和38)年卒業から1971(昭和46)年卒業までの還暦を疾うに過ぎているOB・OGが渋谷に集結して1年間の暮らしをお互いに披露しあう。写真は2018(平成30)年12月に八雲クラブで開催された恒例のオケラの会で、生涯現役を宣言した者もいれば、相変わらずオケにはまって音楽と縁が切れずにいる者、ゴルフにどっぷり浸かっ

ている者、趣味三昧に悠々と身を任せている者等々多彩である。

東京都立大学管弦楽団は1961(昭和36)年1月に都立大学自治会より部として承認されたがこの時の部員は22名、同年4月に15名の新生が入部、指揮者として小宮徳文氏をお迎えした。翌年の1962(昭和37)年には13名、1963(昭和38)年には18名が入部し大きく飛躍した。部員達は初めて楽器を手にする初心者が殆どであったが、生活の拠点は部室に置いて練習に励み、たまには授業に出向くという熱心さで実力をつけ、部としても団結を固めていった。そしてこの年の6月に新宿厚生年金会館で第1回の定期演奏会を開催、翌1964(昭和39)年には第2回の定期演奏会を杉並公会堂で開催、以後毎年定期演奏会を開催し現在に至っている。また1961(昭和36)年12月にオケラの部報「シンフォニア」第1号を発刊し現在も継続して発刊されている。

2021年にはオーケストラ(管弦楽団)が発足して60年になる記念すべき年なので、首都大学の現役及びOB・OG、旧都立大学のOB・OGが一堂に会するのもよいのではないか。

諏訪内 幹弘 (都13・工・機械)



荒キャン東北応援隊活動終了

この度、荒キャン東北応援隊(以下ATO)は約8年に渡る活動を終了いたしました。私たちは常に「陸前高田市の皆さんにとって本当に必要なものは何だろうか」という疑問を持ちながら仮説住宅を中心に活動してきました。

活動当初は現地の方々の生活が不安定で、移動手段も失われてしまっていたため、現地のニーズ調査や車での買物の同行といった活動から始まりました。そのニーズをもとに被災者の方々のために何ができるかと部員同士で考え、荒川区の住民の方々からいただいた本を配る活動を行いました。その後は理学療法学科や作業療法学科の特長を生かして、仮設住宅でお茶を飲みながら手芸やマッサージを行うことでATOと仮

訃 報

ご逝去された先生方および同窓生の方々のうち事務局にお知らせのあった方を謹んでご報告
 申し上げます、心からの哀悼の意を表します。(2019年12月31日現在)

氏 名	所 属	逝去年月日	氏 名	所 属	逝去年月日
倉 沢 進	名 誉 教 授 (都立大・人文学部)	2019. 07. 28	田 島 睦 也	都7・工・電気	2019. 08. 29
			宮 沢 貞 男	都8・法経・法学	2019. 05. 28
詫 摩 武 俊	名 誉 教 授 (都立大・人文学部)	2018. 12. 30	佐 野 滋 雄	都8・理・化学	2019. 04. 15
			池 田 繁 雄	都8・工・土木	2019. 03. 23
野 川 貴 久	都1・人文・法学	2019. 02. 16	望 月 儀 夫	都7・院人・日東	2018. 07. 02
藤 倉 和 明	都1・人文・英文	2019. 09. 16	高 木 繁 忠	都10・法経・法学	2019. 03. 06
水 沼 守	都1・理・物理	2019. 01. 21	一 國 彬 紗 子	都10・理・化学	2019. 02. 01
浦 弘 三	都2・人文・経済	2019. 03. 26	稲 田 吉 弘	都13・法経・経済	2019. 04. 24
山 口 直 昭	都2・人文・経済	2018. 02. 19	高 木 康 成	都14・理・物理	2019. 03. 06
三 芳 瑛	都2・理・物理	2017. 02. 18	濱 口 雅 洋	都14・工・土木	2019. 05. 12
清 水 功	都3・人文・経済	2019. 03. 15	猪 俣 芳 栄	都15・理・化学	2019. 05. 20
宮 井 睿	都3・人文・経済	2019. 06. 03	寺 田 健	都17・人文・国文	2018. 12. 00
小 川 満 紀	都3・工・電気	2017. 12. 04	廣 田 正 志	都18・法・法律	2019. 06. 28
阿 保 忠	都4・人文・経済	2019. 08. 14	鈴 木 惟 司	都18・理・生物	2018. 05. 07
大 池 秀 夫	都4・人文・経済	2018. 03. 04	清 水 幸 雄	都19・法・法律	2017. 03. 29
川久保 昇	都4・人文・経済	2018. 10. 01	井 出 宣 雄	都19・工・土木	2015. 11. 03
富 田 康 太 郎	都4・人文・経済	2019. 01. 01	吉 澤 聖 一 郎	都19・工・土木	2019. 01. 11
森 下 英 明	都4・人文・経済	2019. 07. 25	長 谷 川 義 和	都20・経・経済	2013. 10. 28
尾 畑 稔	都4・理・化学	2019. 01. 08	大 江 隆 男	都21・人文・哲学	2016. 00. 00
山 本 昭	都4・工・工化	2019. 04. 21	鮫 島 正 英	都21・工・電気	2019. 07. 01
後 藤 英 明	都5・人文・法学	2019. 04. 04	難 波 幹 雄	都19・院工・建築	2018. 09. 05
前 田 英 昭	都5・人文・法学	2019. 12. 23	金 田 和 洋	都23・法・法律	2018. 03. 00
藤 本 和 道	都5・人文・経済	2018. 04. 29	羽 野 島 誠 一	都27・人文・英文	2019. 04. 17
毛 利 幹 久	都5・人文・経済	2019. 07. 30	深 田 沢 二	都28・人文・中文	2019. 01. 04
藤 田 一 郎	都5・工・電気	2017. 02. 08	森 浦 敏 雄	都28・工・機械	2019. 02. 15
岩 崎 清	都5・工・土木		廣 瀬 清 明	都28・工・工化	2019. 02. 12
飯 倉 照 平	都6・人文・中文	2019. 07. 24	小 林 陽 子	都29・人文・教育	1998. 05. 08
岩 崎 正 守	都6・法経・経済	2017. 07. 00	大 内 雅 司	都30・人文・史学	2018. 01. 01
小 町 登 志 夫	都6・法経・経済		白 旗 清 彦	都30・工・機械	2018. 11. 26
益 子 仁	都6・工・機械	2019. 02. 17	大 内 松 男	都31・経・経済	2016. 11. 25
藤 代 幸 一	都4・院人・独文	2020. 01. 14	染 谷 藍	都47・法・法律	2018. 06. 29
松 嶋 忠 治	都7・法経・経済	2019. 02. 06	佐 藤 格	都48・人文・社会	2015. 07. 17
内 田 栄 一	都7・工・電気	2008. 01. 10	熊 谷 み ゆ き	都53・理・数学	2009. 02. 24

首都大学東京同窓会 会計報告

財務委員長 吉田 俊雄

第15期決算（一般会計）

自 2018年8月1日 至 2019年7月31日 単位：円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	49,680,824	会報制作費	6,495,200
入会金	22,260,000	会報発送費	5,256,924
維持会費	6,066,000	会員情報管理費	3,008,420
交流会参加費	353,000	会費	1,311,126
新年会参加費	758,500	交流会開催費	614,720
預金利息	820	新年会開催費	1,351,975
雑収入	150,864	通学生援費	500,307
繰入金	4,124,970	学生事務費	2,746,831
小計	34,054,154	人件費	417,162
(前年度繰越金を除く)		八雲クラブ運営費	5,584,760
		八雲クラブ賃借料	864,000
		イベント費	2,280,000
		組織強化費	365,605
		雑費	469,423
		振込手数料等	63,684
		事務所使用料	794,446
		OA環境整備費	201,800
		入会促進費	500,320
		会費納入促進費	961,123
		予備費	266,328
		小計	0
		当年度過不足額(収入-支出)	34,054,154
		次年度繰越金	0
合計	83,734,978	合計	49,680,824

第15期決算（特別会計）

自 2018年8月1日 至 2019年7月31日 単位：円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	5,927,148	払込票制作等	586,498
目的寄付	351,000	データベース改定	0
維持寄付	657,140	一般会計への繰入金	4,124,970
維持寄付(終身)	2,518,000	小計	4,711,468
小計	3,526,140	当年度過不足額(収入-支出)	-1,185,328
		次年度繰越金	4,741,820
合計	9,453,288	合計	9,453,288

第15期決算(東京都立大学への名称変更記念募金特別会計)

自 2018年8月1日 至 2019年7月31日 単位：円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	0	ゆうちょ銀行振込手数料	81,770
ゆうちょ銀行募金口座	7,739,500	みずほ銀行振込手数料	2,808
みずほ銀行募金口座	850,903	小計	84,578
小計	8,590,403	当年度過不足額(収入-支出)	8,505,825
		次年度繰越金	8,505,825
合計	8,590,403	合計	8,590,403

財産目録

(2019年7月31日現在) 単位：円

資産の部		負債の部	
1	首都大学東京同窓会現金・預金	1	前受会費(繰越終身会費)
	①現金 手許在高 42,798	2	リース残高(積水リース株式会社) 430,150
	②普通預金 104,341,360		負債合計 22,912,150
	(内 基本金 50,000,000)		差引正味財産 177,516,319
	みずほ銀行 南大沢支店 93,390,050		
	三菱UFJ銀行 多摩センター支店 10,951,310		
	③郵便振替口座 38,486		
	首都大学東京同窓会		
	小計 104,422,644		
2	東京都立大学への名称変更記念募金・預金		
	①普通預金 848,095		
	みずほ銀行 南大沢支店		
	②郵便振替口座 7,657,730		
	東京都立大学への名称変更記念募金		
	小計 8,505,825		
3	造作 八雲クラブ借室改修費用 0		
4	投資有価証券(株)都立大学同窓会サービス株式(1,750株) 87,500,000		
	資産合計 200,428,469		

(注) (備考) 繰越終身会費(10年で償却受入れ)

繰越金内訳	
一般会計繰越金	49,680,824
特別会計繰越金	4,741,820
小計	54,422,644
基本金	50,000,000
合計	104,422,644

東京都立大学への名称変更記念募金特別会計繰越金 8,505,825

第16期予算（一般会計）

自 2019年8月1日 至 2020年7月31日 単位：千円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	49,681	会報制作費	4,685
入会金	22,000	会報発送費	2,824
維持会費	5,871	会員情報管理費	3,000
交流会参加費	440	会費	1,380
新年会参加費	0	交流会開催費	821
預金利息	1	新年会開催費	0
雑収入	1,065	通学生援費	400
繰入金	1,850	学生事務費	4,940
小計	31,227	人件費	500
(前年度繰越金を除く)		八雲クラブ運営費	5,499
		八雲クラブ賃借料	864
		イベント費	2,280
		組織強化費	380
		雑費	580
		振込手数料等	71
		事務所使用料	800
		OA環境整備費	568
		入会促進費	560
		会費納入促進費	975
		予備費	0
		小計	100
		当年度過不足額(収入-支出)	31,227
		次年度繰越金	0
合計	80,908	合計	49,681

第16期予算（特別会計）

自 2019年8月1日 至 2020年7月31日 単位：千円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	4,742	払込票制作等	310
目的寄付	227	データベース改定	0
維持寄付	429	一般会計への繰入金	1,850
維持寄付(終身)	1,683	小計	2,160
小計	2,339	当年度過不足額(収入-支出)	179
		次年度繰越金	4,921
合計	7,081	合計	7,081

第16期予算(東京都立大学への名称変更記念募金特別会計)

自 2019年8月1日 至 2020年7月31日 単位：千円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,506	ゆうちょ銀行振込手数料	623
ゆうちょ銀行募金口座	58,969	みずほ銀行振込手数料	22
みずほ銀行募金口座	6,552	小計	645
小計	65,521	当年度過不足額(収入-支出)	64,876
		次年度繰越金	73,382
合計	74,027	合計	74,027

八雲クラブ運営委員会第16期予算

(2019年8月7日現在) 単位：千円

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	3,119	印刷発送費	1,484
会員・会費	1,200	サロン運営費	500
サロン参加費	310	講師謝礼	110
ビクター利用料	500	人件費	350
雑収入	0	交通費	89
一般会計助成金	864	通信費	64
繰越金活用	335	清掃費	108
		手数料支払	66
		雑費	235
		八雲クラブ委員会費	150
		振込手数料	3
		予備費	50
合計	3,209	合計	3,209

貸借対照表

(2019年1月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
流動資産	33,107,856	流動負債	802,935
現金及び預金	33,107,856	未払金	12,535
固定資産	56,022,686	前受金	570,000
・有形固定資産	55,949,886	預り金	0
建物	4,976,206	未払法人税等	220,400
土地	50,973,680	負債の部合計	802,935
・無形固定資産	72,800	純資産の部	
電話加入権	72,800	株主資本	88,327,607
		(資本金)	87,500,000
		資本金	87,500,000
		(利益剰余金)	827,607
		繰越利益剰余金	0
		純資産の部合計	88,327,607
資産の部合計	89,130,542	負債及び純資産の部合計	89,130,542

貸借対照表注記事項

原価償却累計額 32,162,514円

損益計算書

自 2018年2月1日 至 2019年1月31日

単位：円

【純売上高】	
貸室収入	2,280,000
売上総利益	2,280,000
【販売費及び一般管理費】	2,084,210
営業利益	195,790
【営業外収益】	
受取利息	2,123
経常利益	197,913
税引前当期純利益	197,913
法人税等	220,723
当期純損失	-22,810
前期繰越利益	850,417
当期末処分利益	827,607

販売費及び一般管理費

自 2018年2月1日 至 2019年1月31日

科目	金額
管理費	506,100 円
警備費	259,192
減価償却費	362,439
修繕費	226,800
事務用品費	518
消耗品費	0
水道光熱費	165,642
旅費交通費	91,206
手数料	123,972
租税公課	219,700
交際接待費	0
保険料	13,080
通信費	115,561
新聞図書費	0
合計	2,084,210

利益処分計算書

単位：円

【当期末処分利益】	827,607
【次期繰越利益】	827,607
上記の通りご報告申し上げます。	
2019年3月20日	
株式会社 都立大学同窓会サービス	
代表取締役	河 口 修
常務取締役	久 保 義 丸
取締役	中 村 政 和
取締役	近 藤 泰 幹

会計監査の結果、上記の報告は適正であることを認めます。

監査役 吉田 俊雄
監査役 松本 傳

東京都立大学同窓会・広報委員会	
会報編集委員会	
委員	
編集委員長	萩原 信吾 (都24期・仏文)
編集委員	芦沢 清隆 (都17期・建築)
編集委員	岩野 久智 (都54期・史学)
編集委員	岩下 慎吾 (首・基盤)
編集委員	上野 庸介 (都45期・法律)
編集委員	小原 弘道 (都28期・機械)
編集委員	黒川 夕信 (都07期・生物)
編集委員	斎藤 美子 (都56期・生物)
編集委員	関根 紀夫 (医01期・放射)
編集委員	畑 純一 (保06期・放射)
編集委員	嶋 久 (都54期・地理)
編集委員	野原 剛 (都04期・化学)
編集委員	河井 信 (都16期・経済)
編集委員	加藤 充子 (都09期・経済)
編集委員	根崎 武彦 (都10期・化学)
編集委員	村山 祥彦 (都05期・経済)

©Tokyo Metropolitan University Alumni

編集後記
萩原信吾広報委員長のもと、新年度の15号の編集が始まり、大学の名称変更、TMUの秋春号一本化と重なり、問題山積で年を越してしましました。
私が会報の編集に関わったのは20年以上前のこと、A4判のサイズになってから14号まで編集長を務めてきました。老害？を自覚しつつも体力・知力がよく持ったと、我ながら感じています。これはひとえに歴代の理事さん広報委員の皆さん同窓会事務局のご協力の賜物であり、感謝の気持ちでいっぱいです。
私は大学卒業後44年間、理工系の出版社で編集の仕事をし、定年後は86歳になるまで会報TMUの編集を続けてきましたが、よく続いたものと思っています。
後任の河井信さんは、現役時代総合出版社の編集者として活躍され、最適の方に後を託すことができ、よろこびの気持ちでいっぱいです。
このまま「はい、さようなら」というわけにはいかないようで、しばらくはお手伝いをさせていただきます。迷感にならないよう努めてまいります。お若い方にとっても、新同窓会のTMUを会員の皆さまをつなぐ絆としてご利用くださいますようお願いいたします。(野原)

会報発行は年1回（春）になりました

これまで年2回（春、秋）発行してきました同窓会報は、今年度から春（4月）1回の発行になりました。

会員の皆様にはご理解をお願いいたします。
詳しくは広報委員長挨拶（本文3頁）参照。

東京都立大学同窓会 ホームカミングデーイベント 講演会・総会・交流会・オープンラボ

南大沢キャンパスで盛大に開催される大学祭「みやこ祭」（11月1日～3日）に合わせ、11月3日（火・文化の日）、本年もホームカミングデーが行われます。ホームカミングデーも年々、充実した内容になっていますが、同窓会も記念イベントを開催します。

今年のホームカミングデーは、「新しい」東京都立大学になってはじめてのホームカミングデーです。

昨年のみやこ祭には、大勢の方が来訪されましたが、今年はそれ以上に盛り上がるでしょう。

今年も、この機会にぜひこの大学祭の雰囲気を楽しみながら、紅葉の樹々に囲まれたキャンパス、研究室、実験施設、大学展示室などをお訪ねください。

首都大、都立大、科技大、保科大・医技短すべての同窓生の皆様！交流会に是非お申し込み、ご参加ください！

大学キャンパスでの久々の再会と新たな出会い、先輩・後輩・現役学生らとの交流をお楽しみください。

同期、ゼミ、サークルなどグループの皆さん！この機会を利用して同期会などの集まりをしませんか！同窓会がお手伝いしますので事務も軽減されますし、会費も割安になります。

南大沢キャンパスは、京王相模原線南大沢駅下車徒歩5分。南大沢駅は新宿から直通特急で最速33分、新横浜駅から最速43分です。新宿からは20分間隔で直通特急、準特急が出ていて便利になりました。

記念講演会・総会・交流会・オープンラボ

日時 2020年11月3日（火・文化の日）

記念講演会 13時～14時

総会 15時半～16時

交流会 16時～18時

オープンラボ 11時～16時

（以上は予定です。今後変更される場合がありますので、スケジュールの詳細など最新情報は、同窓会ホームページでご案内します。）

記念講演会 講師、題名等詳細については未定です。決まり次第ホームページでお知らせします。

総会 会場 南大沢キャンパス 国際交流会館 大会議室

交流会 会場 国際交流会館内レストラン
ルヴェソンヴェール南大沢

会費については確定しましたらHPに掲載します。

事前申し込み、グループ参加等の各種割引は今年も行う予定です。ご期待ください。

事前申込方法

*申込用紙は、同窓会ホームページからダウンロードできるようにします。また、ご一報いただければお送りすることもします。

*グループ参加の場合、グループ名（例〇〇ゼミ）、代表者名、メンバー会員の氏名・卒期・学部・住所・電話番号（よろしければ勤務先・元勤務先）を同窓会事務局までご連絡ください。

*申込期間2020年9月30日

*事前予約された方には、当日、名札を用意します。また、交流会会場にはグループが集まれる「島」を用意します。

問い合わせ先首都大学東京同窓会・イベント委員会

電話042-670-7702

ファックス042-677-2894

メールtmu-al@tmu.ac.jp

詳細は、ホームページ首都大学東京同窓会

来春、新年会を開催します！

2021年2月6日（土）、新年会を開催します。

前は2019年の開催でしたが、大変盛会でした。

2021年の新年会は、新機軸を取り入れてこれまでとはかなり違った会にすることを検討中です。

どうかご期待ください。

内容は決まり次第、HPに掲載します。

第17回評議員会は、10月24日（土）日野キャンパスで開催。

評議員会は、各キャンパス回り持ちで開催していますが、本年度の第17回評議員会は、日野キャンパスで開催されます。

ぜひ、ご出席ください。

場所：日野キャンパス

日時：10月24日（土）14：00より

なお、当日は13時より、最新の機器のそろっているキャンパスをめぐるツアーも計画されており、同窓生の皆様どなたでも参加できます。評議員会については本文13ページ参照。



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

TMU 第15号 2020年4月1日 発行

発行 東京都立大学同窓会

〒192-0364 東京都八王子市南大沢1-1

直通 電話 042-670-7702

FAX 042-677-2894

大学 電話 042-677-1111(代)(内 2181)

電子メール tmu-al@tmu.ac.jp

ホームページ <http://www.comp.tmu.ac.jp/dousoukai/>

郵便振替口座 00150-0-426678

印刷 京浜印刷株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井4-7-3

TEL 03-3763-7321

FAX 03-3764-6839